



あなたと あたらしい あしたへ —— 京王グループ



安全・社会・環境報告書 2013 CSRLレポート

編集方針

本報告書は、多角的な事業を展開する京王グループの活動を安全・社会・環境面から捉え、どのような考えを持って取り組んでいるかを、分かりやすくお伝えするものです。

当社の最大の使命である安全への取り組みをはじめとして、京王グループ理念にある「つながりあうすべての人」を念頭に置き、各ステークホルダーとの取り組みが伝わることに留意しました。

より詳しく、視覚的、タイムリーにお伝えするため、京王ホームページ、京王ニュース、環境・CSRポスター、インベスターズガイドなどでも適切な情報発信に努めています。あわせてご覧ください。

本報告書は、鉄道事業法第19条の4により公表が義務付けられた「安全報告書」を兼ねているほか、皆さまとのコミュニケーションを深めるための重要なツールと位置付けています。

アンケートを行っていますので、忌憚のないご意見、ご感想をいただけますようお願いいたします。

【報告範囲・報告期間】

- 本報告書は、京王電鉄単体(鉄道事業部門、開発事業部門、一般管理部門)の2012年度(2012年4月1日～2013年3月31日)の報告です。当該年度以外の事例や京王グループの事例も一部掲載しています。
- 環境負荷データおよび環境会計データは、京王電鉄単体の2010年度～2012年度のデータです。

【参考にした報告ガイドライン】

- 鉄軌道事業者による安全報告書の作成手引き(国土交通省)
- 環境報告ガイドライン(2012年版、環境省)

●京王グループのCSRに関する情報は、以下の媒体で公表しています

安全・社会・環境報告書

安全への取り組みをはじめ、社会貢献、環境保全活動まで、1年間の取り組みを、幅広いステークホルダーの皆さまへご報告しています。



インベスターズガイド

株主・投資家の皆さまへ、財務情報から、CSR情報まで、年2回定期的に報告しています。



環境・CSRポスター

「京王クリーンキャンペーン」など、お客さま参加の環境・CSRの活動報告として、電車・駅構内に掲示しています。



京王ニュース

沿線に関わるお役立ち情報や社会貢献イベントなどを掲載し、新聞折込や駅構内などで配布しています。



京王ホームページ

お客さまから、投資家、専門家の方まで、幅広いステークホルダーとのコミュニケーションサイトです。





目次

トップメッセージ 4

安全報告

輸送の安全確保に関する基本方針 6
 安全統括管理者メッセージ 7
 安全管理体制 8
 安全管理方法 9
 2012年度 安全重点施策 10
 2012年度 輸送安全の実態 11
 安全な鉄道の実現に向けた教育(ソフト面)の取り組み 13
 安全な鉄道の実現に向けた設備(ハード面)の取り組み 16
 2013年度 安全重点施策 23
 お客さまとの連携 24
 お客さまへのお願い・お客さまの声 25
 グループ会社の安全対策 26

社会性報告

特集：沿線活性化の取り組み 28
 お客さまの利便性・快適性の向上 30
 地域社会への貢献 38
 行政・協力会社との連携 43
 株主・投資家の皆さまとの対話 44
 人材の活用と働きやすい職場づくり 45

環境報告

特集：もっと環境にやさしい鉄道を目指して 48
 環境方針・環境管理体制 50
 低炭素社会を目指して 52
 循環型社会を目指して 58
 自然共生社会を目指して 60
 より良い環境マネジメントを目指して 65

コーポレート・ガバナンス体制 68
 TOPICS：京王の電車・バス開業100周年を記念して 72
 京王電鉄の概要 74
 第三者意見 75

安全風土の醸成、沿線価値の向上、 環境保全の推進を通じて 「信頼のトップブランド」の確立を 目指します。



京王電鉄株式会社 代表取締役社長

永田正

鉄道の最大の使命である安全を確保すべく、 安全風土の醸成と施設改善を着実に推進します。

当社をはじめ京王グループのすべての運輸事業者は「『安全』は最大の使命であり、最高のサービスである」との方針のもと、事業を展開しています。

鉄道事業では、安全最優先の鉄道を創ることを目指します。昨年「安全に関する基本方針」と「安全に係る社員の行動規範」を改め、また、私の思い「新基本方針・行動規範策定にあたって」を添えて全社員に携帯カードを渡すなど、社員一人ひとりの意識の向上を図り安全風土の醸成に取り組んでいます。

一方、ハード面では、調布駅付近連続立体交差事業で、2014年度の事業完了に向け工事を進めることに加え、笹塚以西の鉄道立体化について、事業主体である東京都とともに手続きを推進します。

また、ATCシステム（自動列車制御装置）の全線への整備完了に引き続き、高架橋などの耐震補強工事、新宿駅へのホームドア設置工事を鋭意進めるなど、安全対策の強化に取り組んでいきます。



2012年11月 総合事故復旧訓練

持続的発展が可能な社会を目指して 環境マネジメントを推進します。

京王グループは持続的発展が可能な社会の実現を目指して、常に環境保全に配慮した事業活動を行っています。

鉄道部門では、2013年6月に開設した高幡不動の鉄道現業事務所において、トップライトや壁面緑化、太陽光発電システムなど環境に配慮した13種類の設備を採用し、従来に比べ約30%の省電力と節水に取り組んでいます。また、電車走行のエネルギー効率を高めるため、電力を有効に活用できる「回生ブレーキ」に加え、電車のモーターを効率よく動かす「VVVFインバータ制御装置」を1991年度から導入し、2012年10月に大手民鉄16社で初めて搭載率100%を達成しました。走行に必要な消費電力量は、これらの導入により約45%削減され、エネルギー効率の大幅な向上を果たしました。

開発部門では、東京都環境確保条例に基づき、大規模事業所を中心に空調や照明の高効率化などを積極的に実施した結果、2012年度はCO₂排出削減目標を大きくクリアしました。

グループ会社では、西東京バスが2013年3月にハイブリッドバスを導入し、五日市エリアおよび八王子市内で運行を開始しました。

今後もエネルギー使用削減をはじめとした環境関連法令を確実に遵守するとともに、資源の有効活用、自然環境の生物多様性保全を推進していきます。



2013年4月 高尾の森 第13回植樹祭

「住んでもらえる、選んでもらえる沿線」を 追い求め続けます。

本年4月15日、おかげさまで京王線・路線バスは開業100周年を迎えました。これも沿線のお客様、その他関係者の皆様に支えられたおかげであり、厚く御礼申し上げます。

京王グループでは、沿線が将来にわたり活力を維持できるサイクルを作り上げるため、生活サポートサービスや子育て支援事業を積極的に進めています。

お買い物や家事代行、リフォームやホームセキュリティなど幅広くお客様のニーズにお応えする「京王ほっとネットワーク」では、新たなサービスとして2013年内に多摩ニュータウンエリアを中心に食料品などの移動販売を開始し、日常の買い物の利便性向上に取り組めます。また、実施に先立ち、地元自治体である多摩市と「地域発展の推進に関する包括連携協定」を締結しました。

10月には100周年を記念して「京王れーるランド」を子育てファミリーを中心に楽しみいただける施設に一新します。

東京都認証保育所「京王キッズプラッツ」では、地域の子育て世代支援に向けて、京王沿線で7カ所目となる「京王キッズプラッツよみうりランド」を2014年2月に開設する予定です。

京王グループはこれからも安心・便利で生き活きた沿線づくりに取り組み、「住んでもらえる、選んでもらえる沿線」を追い求め続けます。皆様には、今後も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



2013年8月 包括連携協定調印式

安全報告

当社では、「『安全』は最大の使命であり、最高のサービスである」との信念のもと、運輸安全マネジメントを推進し、輸送の安全性向上に向けて継続的に取り組んでいます。



輸送の安全確保に関する基本方針

安全に関する基本方針

- 「安全」は最大の使命であり、最高のサービスである。
- 全社員が一丸となり継続的改善に取り組み、安全最優先の鉄道を創る。

安全に係る社員の行動規範

- 全てにおいてお客さまの視点に立ち、安全確保を第一に行動する。
- 社員一人ひとりがルールを遵守し、判断に迷ったときは、自ら考え、最も安全と認められる行動をとる。
- 情報伝達は迅速かつ正確に行い、共有化を図る。
- 組織・職位を越えたコミュニケーションを構築し、全社員が連携して問題解決にあたる。

■新基本方針・行動規範策定にあたって

2012年9月21日「安全に関する基本方針」「安全に係る社員の行動規範」改定にあたり、社長から全社員に向けてメッセージを発信しました。

『私たちの仕事』はお客様の大切な命を預かり、沿線の暮らしを支え、その信頼に応えていくことを背負っている。故に、「私たちの使命」はお客様を無事に、正確に、そして快適にお運びする事であり、「私たちに与えられた命題」は安全の確保が全てにおいて最優先されるという基軸を常に持って、安全を現場力の発揮と全社一丸の支持により、日々創り上げていくことである。

そして、この事業の重みを誇りとし、より高い安全文化を全員で構築していくことである。

取締役社長

永田正

安全統括管理者メッセージ

安全最優先の鉄道を創ってまいります

日頃から京王線、井の頭線をご利用いただきまして、ありがとうございます。

当社では、京王グループ理念である『信頼のトップブランド』を目指し、皆さまから信頼され、愛される鉄道になるため、『安全』は最大の使命であり、最高のサービスである。』ことを常に意識し、『全社員が一丸となり継続的改善に取り組み、安全最優先の鉄道を創る。』ことを最優先の命題として取り組んでいます。

ハード面では、昨年8月に調布駅付近連続立体交差事業における地下線への切替えが完了し、18カ所の踏切を廃止しました。また、3月には井の頭線でATC（自動列車制御装置）の使用を開始し、全線にわたりATC化が完了しました。今後も構造物の耐震性能向上、新宿駅のホームドア設置を進めるなど、安全性の向上に努めてまいります。

本年4月、京王線開業100周年を迎えることができました。今後とも、皆さまの生活になくてはならないものであり続けるために、現状に安住することなく安全性の向上を目指して日々努力してまいります。



常務取締役
鉄道事業本部長(安全統括管理者)

高橋 泰三



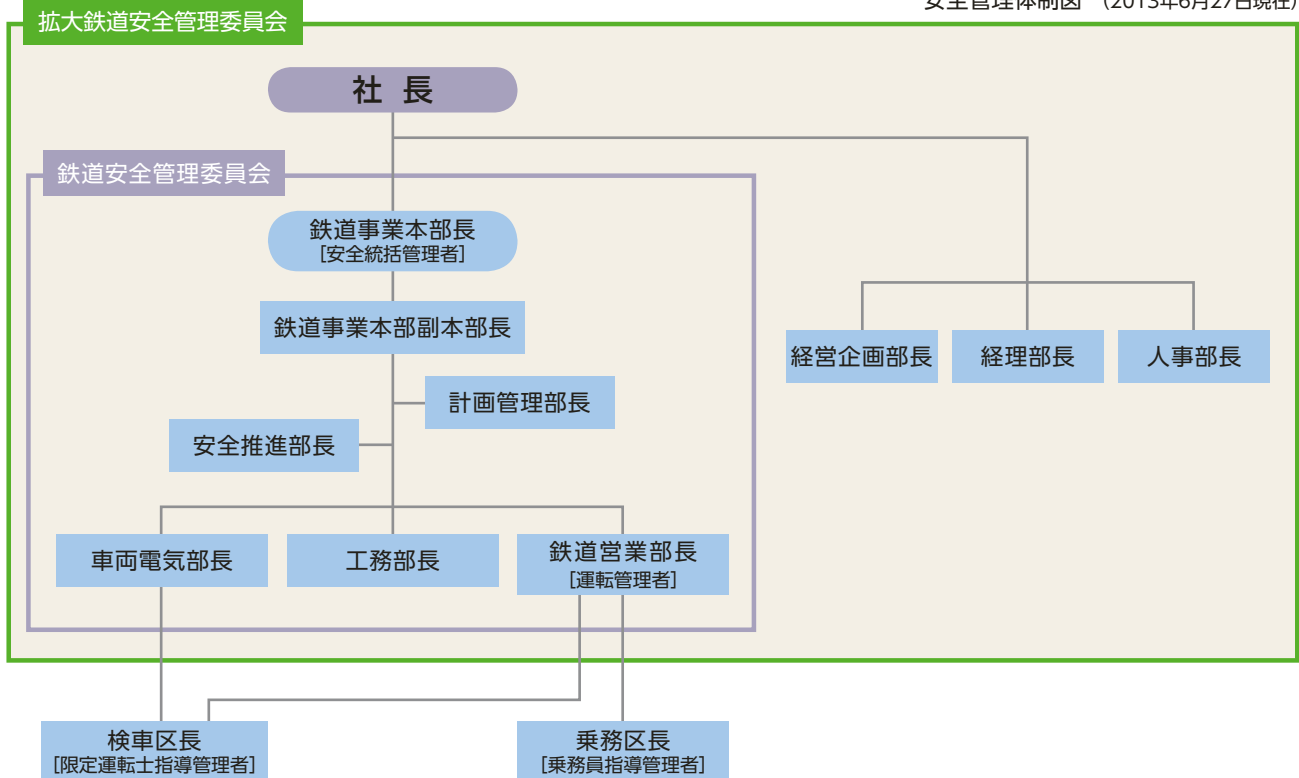
職場巡視風景

安全管理体制

安全管理体制

当社では、安全管理体制を下の図のとおり構築しています。

安全管理体制図 (2013年6月27日現在)



責任者名と役割

責任者名	役割
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括し、鉄道事業本部長を充てる。
運転管理者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括し、原則として鉄道営業部長を充てる。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理し、乗務区長を充てる。
限定運転士指導管理者	車両電気部長および運転管理者の指揮の下、限定運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
鉄道事業本部副本部長	安全統括管理者を補佐する。
計画管理部長	輸送の安全確保に必要な設備投資に関する事項、収支に関する事項および要員に関する事項を統括する。
安全推進部長	安全統括管理者の指揮の下、輸送の安全の確保に関する体制および事故防止に関する事項を統括する。
工務部長	安全統括管理者の指揮の下、土木施設に関する事項を統括する。
車両電気部長	安全統括管理者の指揮の下、電気施設に関する事項および車両に関する事項を統括する。
経営企画部長	会社全体の視点から輸送の安全確保に必要な投資に関する事項を統括する。
経理部長	会社全体の視点から輸送の安全確保に必要な収支に関する事項を統括する。
人事部長	会社全体の視点から輸送の安全確保に必要な要員に関する事項を統括する。

安全管理方法

●鉄道安全管理委員会

安全統括管理者を中心に、運転管理者を含む鉄道事業本部の各部長がメンバーとなり、月に1回定期的に開催し、事故原因の究明・事故対策の検討等を行っています。

また、拡大鉄道安全管理委員会を年に2回開催し、社長出席のもと、鉄道の安全性向上のための重点施策やその他、安全管理体制全般の実施状況の評価に関する事項の検討等を行っています。

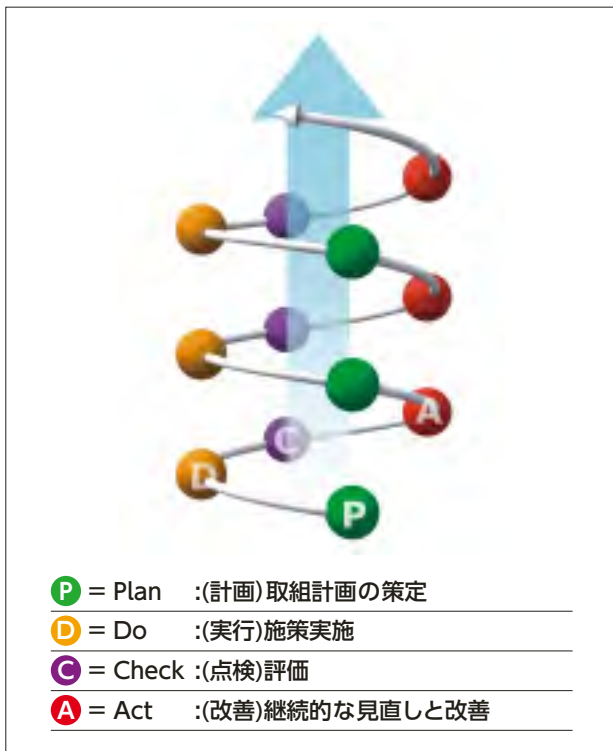
●主な検討事項

- 安全管理体制の維持・改善に関する事項の検討
- 安全重点施策等の策定と進捗状況の確認
- 事故発生時の再発防止策の検討
- 事故の芽情報の検討
- 内部監査の計画および結果報告

●「運輸安全マネジメント」PDCAサイクル

鉄道安全管理委員会を中心にして、計画(Plan)→実施(Do)→評価(Check)→見直し・改善(Act)サイクルに沿って、報告・検証、安全性向上を図っています。

●継続的な見直しと改善



「運輸安全マネジメント」PDCAサイクル図

●事故の芽情報(ヒヤリハット)

「鉄道輸送に支障を及ぼす恐れのある事柄」や「事故には至っていないが事故につながる可能性があった事柄」を「ヒヤリ・ハット」情報として幅広く収集し、分析・評価を行ったうえで、鉄道安全管理委員会において報告するなど、事故の未然防止に向け取り組んでいます。報告された案件について、現場にフィードバックすることで情報の共有化を図り、安全性の向上に役立てています。

●緊急時対応体制

鉄道運転事故や自然災害の発生に備え、社内規程類を整備し、緊急時対応体制を構築しています。大規模事故や自然災害が発生すると、これに基づき対策本部を設置して、緊急・応急・復旧対策にあたります。

●内部監査の実施

内部監査員としての講習を修了した監査員による内部監査を毎年行い、安全管理体制が適正に機能していることを確認しています。社長、安全統括管理者ならびに鉄道事業本部の部長・課長および現業の管理職に対してインタビューや書類検査などによる監査を行い、監査で見出された事項については、鉄道安全管理委員会に報告され、共有化されています。

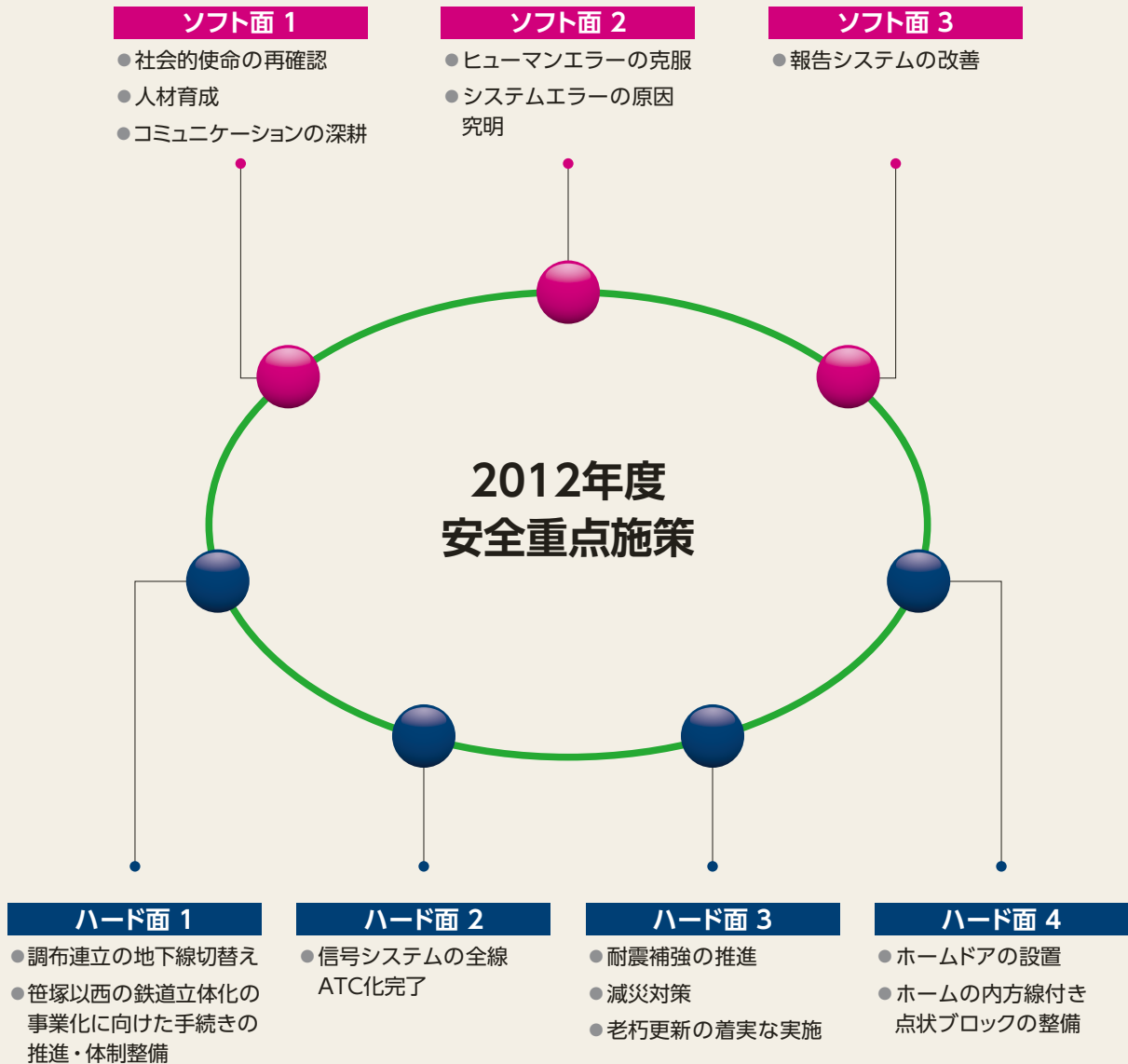
●経営トップによる職場巡視

毎月行われている「安全再確認の日」や夏季の安全輸送推進運動および年末年始の安全総点検を中心に、社長をはじめとする役員が現場を巡視して安全管理の状況を確認するとともに、現業職員との意見交換会を実施してコミュニケーションを図っています。



社長による職場巡視

2012年度 安全重点施策



2012年度安全スローガン

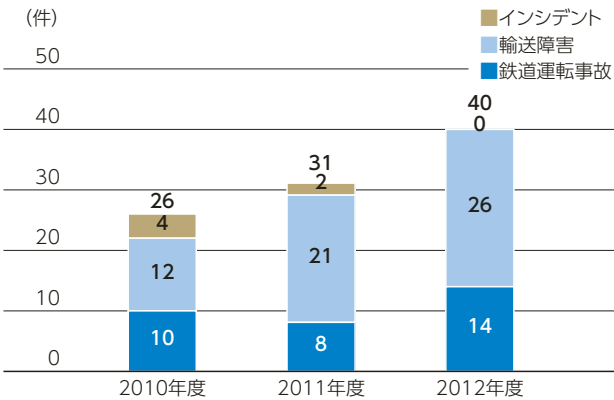
「安全は 目配り 声かけ 思いやり」

安全意識の一層の浸透を図るため、初めて社内公募により安全スローガンを設けました。

2012年度 輸送安全の実態

事故・インシデント等の発生状況と再発防止措置

●事故・インシデント等の発生状況



■鉄道運転事故とは

「列車衝突事故」「列車脱線事故」「列車火災事故」「踏切障害事故」「道路障害事故」「鉄道人身障害事故」「鉄道物損事故」をいいます。

■輸送障害とは

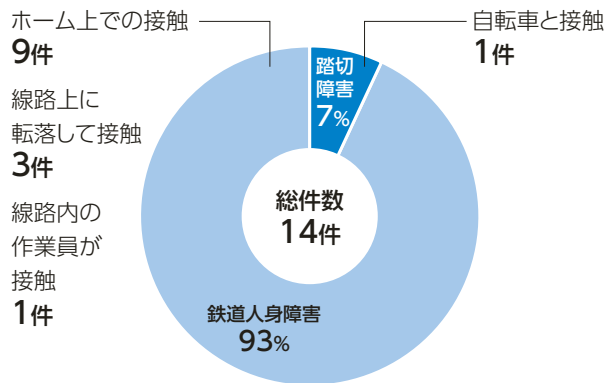
鉄道による輸送に障害を生じた事態で、鉄道運転事故以外の運休、また列車に30分以上の遅延が生じたものをいいます。

■インシデントとは

事故には至らなかったが、鉄道運転事故が発生する恐れがあると認められる事態をいいます。

■鉄道運転事故の発生状況

2012年度は14件の鉄道運転事故が発生しました。



■踏切障害(1件)

- 踏切側道を自転車で走行中によりけて転倒して自転車が列車に接触した。(1件)

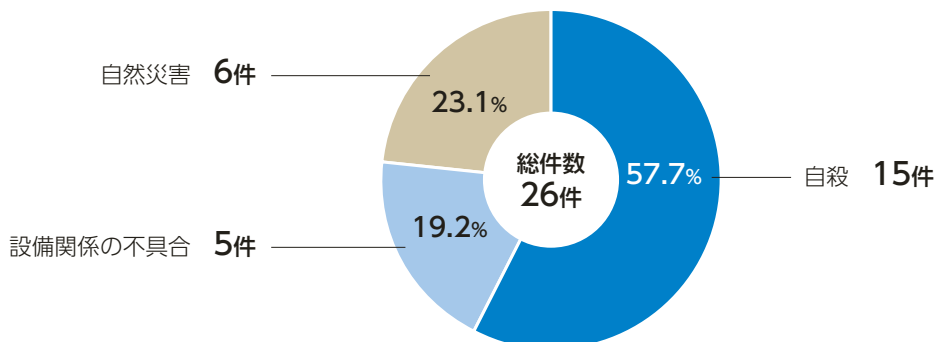
■鉄道人身障害(13件)

- 飲酒されたお客さまがホーム上で列車に接触した。(9件)
- 線路上にお客さまが転落して列車に接触した。(3件)
- 線路内の作業員が列車と接触した。(1件)

※これらの事故や障害により、お客さまに多大なご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

■輸送障害の発生状況

●輸送障害の内訳



2012年度 輸送安全の実態

自然災害による列車遅延

●台風(雨・風)による影響

2012年6月19日の台風4号および9月30日の台風17号の影響により、京王線・井の頭線の一部または全線で運転を見合わせました。

●降雨による影響

大雨の影響により、一部運転見合わせを実施した日が年間1日発生しました。

●風による速度規制

多摩川橋梁付近で、強風により速度規制または一時運転見合わせを実施した日が、年間24日発生しました。

●地震による影響

地震による影響はありませんでした。

●落雷による影響

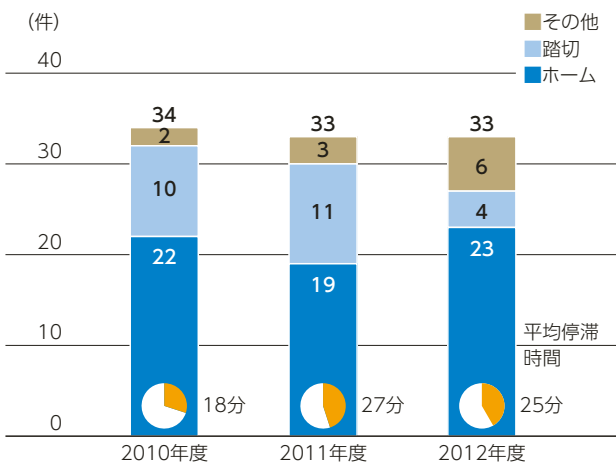
2012年8月17日に発生した落雷による機器故障により、一部列車に運休や遅延が発生しました。

●降雪による影響

2013年1月14日の降雪の影響により、一部列車に運休や遅延が発生しました。

2012年度に発生した人身事故

●人身事故の発生件数と平均停滞時間



人身事故について

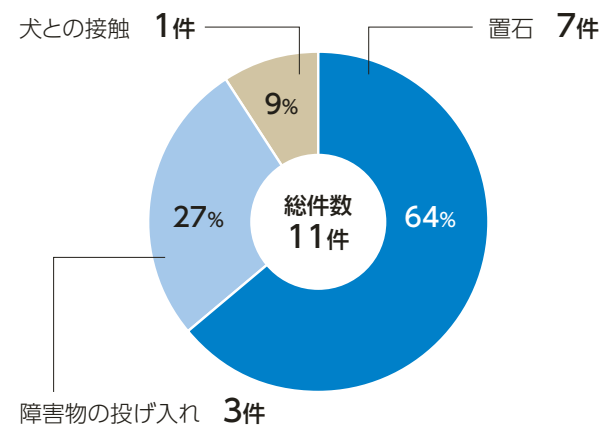
2012年度の人身事故発生件数は33件で、うち自殺が19件、飲酒されたお客さまがホーム上で列車と接触が9件発生しています。

事故発生時には、早期の運転再開を目指しますが、お客さまおよび係員の安全を最優先に作業いたしますので、ご理解をお願いいたします。

列車運行を妨害する行為

列車運行を妨害する行為には、線路への置石および物の放置、列車への投石などがあります。このような行為は、列車往来危険、器物損壊罪などの犯罪行為であり、安全を脅かすものです。当社では防犯カメラや赤外線センサーの設置のほか、最寄りの警察署と連携して巡回を強化し、再発防止に努めています。

●列車妨害発生状況



保安監査の実施

2012年10月23日～26日の4日間、国土交通省関東運輸局による保安監査が実施されました。鉄道事業本部の当社、および現業における輸送の安全確保に関する取り組み状況などを確認しました。

安全な鉄道の実現に向けた教育(ソフト面)の取り組み

●鉄道従事員への教育方針

「鉄道従事員として、自らの知識・技能の習得に努め、安全・安心・快適な鉄道であるための使命を果たせる人材を育成する」という教育方針に基づいて部署・職位別の教育訓練を行っています。

実務に即した訓練など専門分野に関するものや、部門共通の研修などを通じて、鉄道従事員の資質の向上に努めています。

主な設備

●運転シミュレータ

CG映像を活用した運転士訓練機能および車掌訓練機能があります。昼夜・降雨などさまざまな条件が設定でき、乗務員の教育や異常時対応訓練などを行っています。



訓練の様子(上)、
ホームドアの訓練装置(下)

●駅業務訓練室

駅で使用している自動券売機や自動改札機などを設置し、業務の習得や接遇向上訓練を行っています。



駅業務訓練室

●鉄道教習所における教育

鉄道教習所は、国土交通大臣指定の動力車操縦者の養成所として運転士に必要な知識・技能の教育を行っているほか、事故事例のパネルやCAI(コンピュータ支援教育)教材の製作など、教育施設の充実を図っています。

●ホーム訓練室

実際のホームを模擬し、列車非常停止ボタンや転落検知装置などの機器を使用して、異常時における迅速かつ的確な対応ができるよう訓練を行っています。



ホーム訓練室

●駅係員信号取扱訓練室

列車ダイヤが大きく乱れたときなどに実施する、信号操作の取り扱い(てご操作)訓練を行います。



駅係員信号取扱訓練室

安全な鉄道の実現に向けた教育(ソフト面)の取り組み

●電気係員連動訓練室

信号機や転てつ器の動作に係る通信機器の訓練室です。



電気係員連動訓練室

●CAI(コンピュータ支援教育)教室

鉄道の仕組みや事故防止についてCGを活用して講義を行うための教室です。受講者は苦手科目などを個別に学習できるほか、教師は遠隔操作で各受講者の進捗の確認やテストの配信を行うことができます。



CAI教室

●事故展示室

主な事故事例を年表形式にまとめた「鉄道事故年表」をはじめ、個別の事例について当時の写真や新聞記事、略図を用いて解説したパネルが展示してあります。

過去の事故を教訓として再発防止を深く認識するために設けています。



事故展示室

●運転士の養成

運転士になるためには、駅係員、車掌を経験し、国土交通大臣指定の動力車操縦者の養成所である鉄道教習所で学科講習と技能講習をあわせて約8カ月間受け、試験に合格しなければなりません。運転士になった後もフォロー教育および監督者による定期的な添乗指導などを行い、知識・技能の維持・向上を図っています。

入所から運転免許交付までの流れ

入所

学科講習
(3カ月間)

- 運転士の使命
- 運転法規
- 車両構造
- 検査修繕
- 運転のしくみ
- 線路や信号・電気設備
- 運転シミュレータ

学科修了試験

技能講習
(4.5カ月間)

- 指導操縦者とのマンツーマンによる運転技能訓練
- 線路・信号条件
- 車両点検
- 異常時の対応や応急処置等

技能修了試験

国土交通省より運転免許交付

●運輸安全マネジメント教育

鉄道事業本部の鉄道従事員全員(保守業務の委託先社員を含む)に対して、安全管理規程や安全重点施策の周知を中心とした運輸安全マネジメント教育を実施しています。会社の安全に対する取り組みや、実際に発生した事故事例を扱うなど安全意識の高揚を図っています。

●ヒューマンエラー防止に向けた教育

鉄道事業本部の各職場では、ヒューマンエラーを起因としたトラブルの原因を、職場内のグループ毎に、新QC7つ道具のひとつである「連関図法」により分析し、再発防止策を「系統図法」により立案する取り組みを実施しています。

安全な鉄道の実現に向けた教育(ソフト面)の取り組み

■ 協力会社への教育

軌道・土木・建築、電気、車両などの保守管理や施設改良工事を委託する協力会社の社員に対し教育を実施しています。触車事故を受け、線路内作業手順を見直し、協力会社の社員一人ひとりに対して教育を行い再確認をすると共に、安全パトロールを実施するなど、教訓を忘れず再発防止に取り組んでいます。

■ その他の教育

地元消防署と東京救急協会の協力により、定期的に救命講習を開催し、現在鉄道事業に従事する社員の約2/3が救命技能認定証を取得しています。



救命講習

■ 安全講演会の実施

2013年2月、(公財)鉄道総合技術研究所 人間科学研究部長 鈴木浩明氏を講師にお迎えして、「ヒューマンエラー事故防止に向けて」と題し、開催しました。社長はじめ、京王グループ会社(請負工事施工会社含む)の社員が参加しました。



安全講演会

■ 総合防災訓練

● 鉄道事業本部総合事故復旧訓練

毎年、脱線などさまざまな鉄道事故を想定し、現場の復旧、通報・連絡・お客さまの避難誘導などの訓練を実施しています。2012年11月、稲城消防署と多摩中央警察署の協力をいただき、京王線の若葉台車両基地において、列車が踏切道上で障害物と衝突し脱線したとの想定のもと、実施しました。



総合事故復旧訓練

● 防災訓練

地震の発生を想定し、列車の緊急停止などの訓練を定期的に行っています。

■ その他の主な訓練

各現場職場において、定期的に教育訓練を実施しています。

● 鉄道営業部

駅係員は転てつ器が故障した場合の対応訓練、乗務員は踏切事故を想定した訓練などを実施しています。

また、最寄りの消防署・警察署と合同で、テロや列車火災発生を想定した避難誘導・通報訓練や、地下鉄での火災を想定した初期消火訓練なども実施しています。



調布駅での火災訓練の様子

● 工務部・車両電気部

各職場単位で定期的に、レールの折損や架線の断線、信号機の倒壊、列車の脱線などの復旧やクレーン等の取り扱い、機器の故障処置訓練などを行っています。

安全な鉄道の実現に向けた設備(ハード面)の取り組み

立体交差化と踏切の安全対策を進めています

●連続立体交差事業

運転保安の向上のため、線路と道路の立体交差化や踏切の整理統合を行ってきました。2012年8月に調布駅付近を地下化し、線路と道路の連続立体交差化を実現し、踏切数は1955年度の322カ所から2012年度末で136カ所に減少しています。

このほか、踏切に各種保安装置を設置し、保安度の向上に努めています。

※連続立体交差事業：連続立体交差事業は2カ所以上の幹線道路を含む多くの道路と鉄道を連続的に立体化するものであり、道路整備の一環として施行する都市計画事業です。



京王線と道路が立体交差する国領駅付近

●調布駅付近連続立体交差事業

東京都、調布市と協力しながら、調布駅付近連続立体交差事業を実施しています。

2012年8月に、事業区間の地下線への切替えを実施し、鶴川街道や狛江通りなど18カ所の踏切を廃止しました。

その後、2014年度の事業完了に向けて、地上の鉄道施設の撤去や駅舎の本設工事などを進めています。

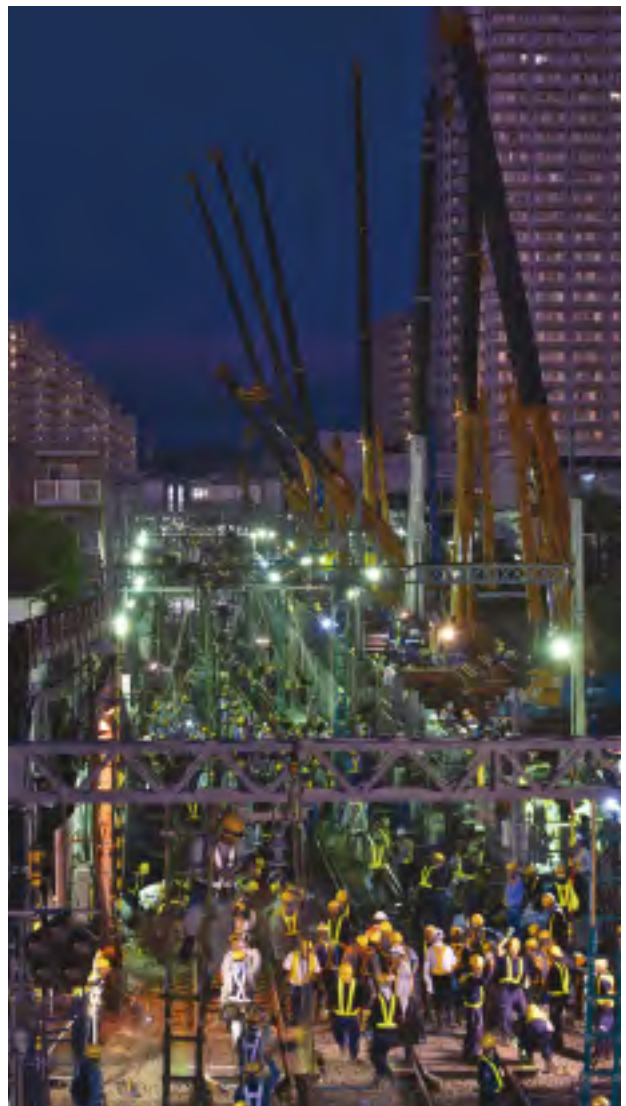


踏切が廃止された狛江通り

●笹塚駅～仙川駅間連続立体交差事業

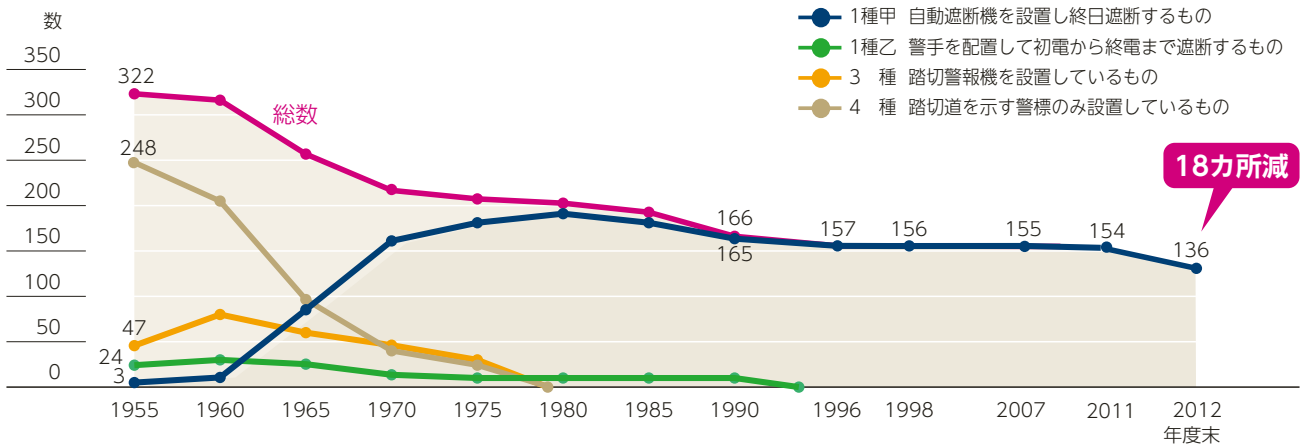
この事業は笹塚～仙川間の約7.2kmを高架化し、井ノ頭通りや千歳通りなどとの立体交差化を図ることで、25カ所の踏切を廃止するものです。

現在、事業主体である東京都と共に事業化に向けた手続きを進めており、2012年10月に都市計画決定され、11月には用地測量説明会を実施しました。



調布駅付近連続立体交差事業における地下線化切替え工事当日の様子

●種類別踏切数の推移



●踏切障害物検知装置

踏切での列車と自動車などの接触事故を未然に防止するため、85カ所の踏切に踏切障害物検知装置を設置しています。踏切内に障害物を検知すると、運転士に異常を知らせるとともに、ATC(自動列車制御装置)を介して列車にブレーキ制御の信号を送ります。



踏切障害物検知装置

●踏切支障報知装置(非常ボタン)

踏切での列車と自動車などの接触事故を未然に防止するため、すべての踏切に踏切支障報知装置(非常ボタン)を設置しています。踏切内で閉じ込められるなどの緊急事態が生じた場合、ボタンを押すと、運転士に異常を知らせるとともに、ATC(自動列車制御装置)を介して列車にブレーキ制御の信号を送ります。



踏切支障報知装置

●踏切の歩道部のカラー舗装化

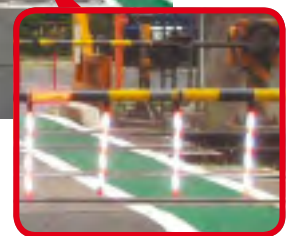
踏切内における歩行者の安全を確保するため、歩道のあるすべての踏切で車道と歩道を明確に区別するカラー舗装化を行っています。

●くぐりぬけ防止啓発テープ

遮断かんが下りた後の踏切内への侵入を防ぐため、すべての踏切の遮断かんにくぐりぬけ防止の啓発テープを設置しています。



踏切歩道部のカラー舗装化



くぐりぬけ防止啓発テープ

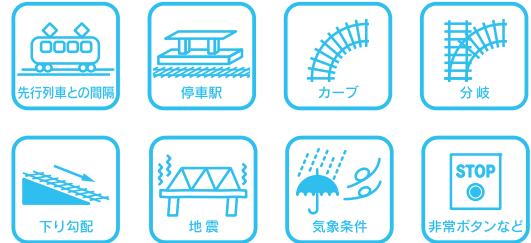
安全な鉄道の実現に向けた設備(ハード面)の取り組み

運転保安向上のための施設・設備の充実を図っています

●ATC(自動列車制御装置)

先行列車との間隔や曲線、分岐(ポイント)、下り勾配、停車駅などさまざまな条件をもとに、常に適正な速度で走行するよう列車をきめ細かく制御する装置です。これにより、列車速度が制限速度を超えることがなく、また、踏切の非常ボタンや障害物検知装置、駅ホームの列車非常停止ボタンとも連動し、非常の際には列車を自動的に停止させることができます。さらに、気象条件などにより、運輸指令所から任意の区間に速度制限をかけることもできます。

ATCで列車を制御できる主なケース

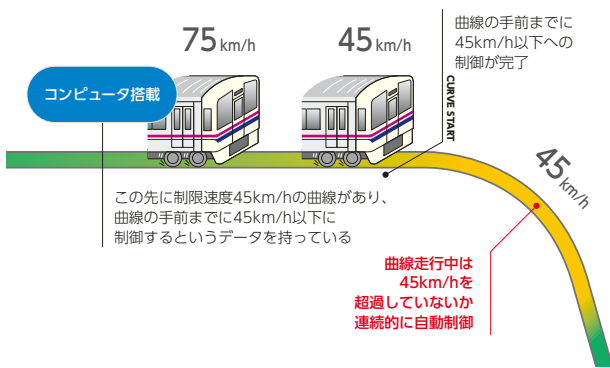


ATC Automatic Train Control

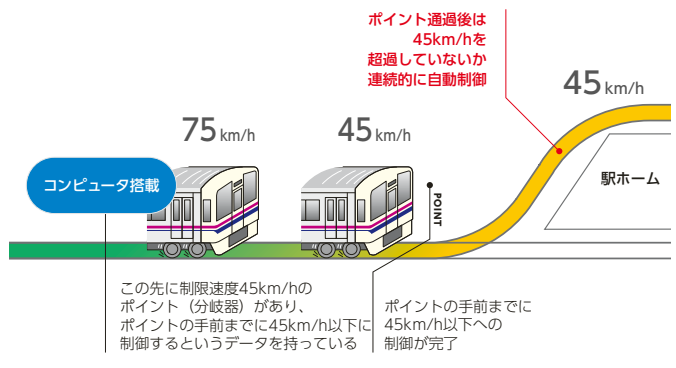
車両に搭載しているコンピュータが、レールに流れている信号電流を受け取ることにより、先行列車との間隔を連続的に把握し、常に適切な速度で走行できるよう、列車を制御します。



●曲線通過の際には



●ポイント(分岐器)通過の際には



●防護無線装置

列車の脱線や踏切内での自動車などの立往生などにより、他の列車の運行に支障を来す恐れがある場合、乗務員が乗務員室にあるボタンを押し、無線による信号を発報する装置です。この信号を受報した列車の運転士は直ちに列車を停止させ、事故を未然に防ぎます。



防護無線装置

●車両の緊急停止装置

運転士の体調が急変した場合などに備えて、ハンドルから手が離れると自動的に非常ブレーキが作動する運転士異常時列車停止装置や、車掌が強制的に非常ブレーキをかける装置を車両に搭載しています。



運転士異常時列車停止装置

安全な鉄道の実現に向けた設備(ハード面)の取り組み

●鉄道総合指令センター

鉄道総合指令センターには列車の運行などを管理する運輸指令と、電力の供給を管理する電力指令の機能が集約され、平常時だけでなく、事故や災害発生時の対応を迅速に行えるよう、連携を強化する体制を整えています。

●運輸指令所

列車の運行を円滑に行うため、TTC(列車運行管理システム)により、列車の進路設定、出発指示合図などを自動制御しています。事故発生時などには、列車の位置や遅れなどを総合的に判断し、運行ダイヤの整理・復旧を図るとともに、駅・車両のお客さま案内ディスプレイや車内案内表示器などを通じて運輸指令所から一括して運転状況などをお客さまにご案内します。



運輸指令所

●電力指令所

列車運転用電力と駅設備や信号保安設備などに用いる付帯用電力を供給する、20カ所の変電所の運転状況や送電状況を、集中監視制御システムにより24時間体制で監視しています。

事故や停電が発生した場合は、直ちに予備の施設に切り替え、列車運転への影響を最小限にするなど、電力の安定供給に努めています。



電力指令所

●輪重測定装置

脱線事故を未然に防ぐため、車両の輪重比(左右の車輪にかかる荷重のばらつき)が国の定める10%以内となるよう、輪重測定装置を導入し、調整しています。

●過走防止装置

過走余裕距離が特に短い終端駅などに設置しています。複数の地上子がそれぞれ列車の速度を照査し、制限速度以上で列車が通過したときは非常ブレーキを作動させて列車を停止させます。



過走防止装置

●車輪フランジ角度

車輪にあるひっかけり部分(フランジ)とレールの水平面に対する角度は、国が推奨している70度を従来から採用しています。

●脱線係数の測定

曲線を走行中に、車輪がレールを下方方向に押す力と横方向に押す力を測定することで脱線の危険性(脱線係数)を常時監視することが可能な「PQモニタリング台車」を京王線の営業線車両に導入しています。

●脱線防止ガード

国からの通達では、半径200m以下の曲線に脱線防止ガードを設置することが定められていますが、当社では従来からその基準を上回る半径300m以下の曲線に設置しています。また、分岐器(ポイント)にも順次設置しています。



脱線防止ガード

●軌道の平面性

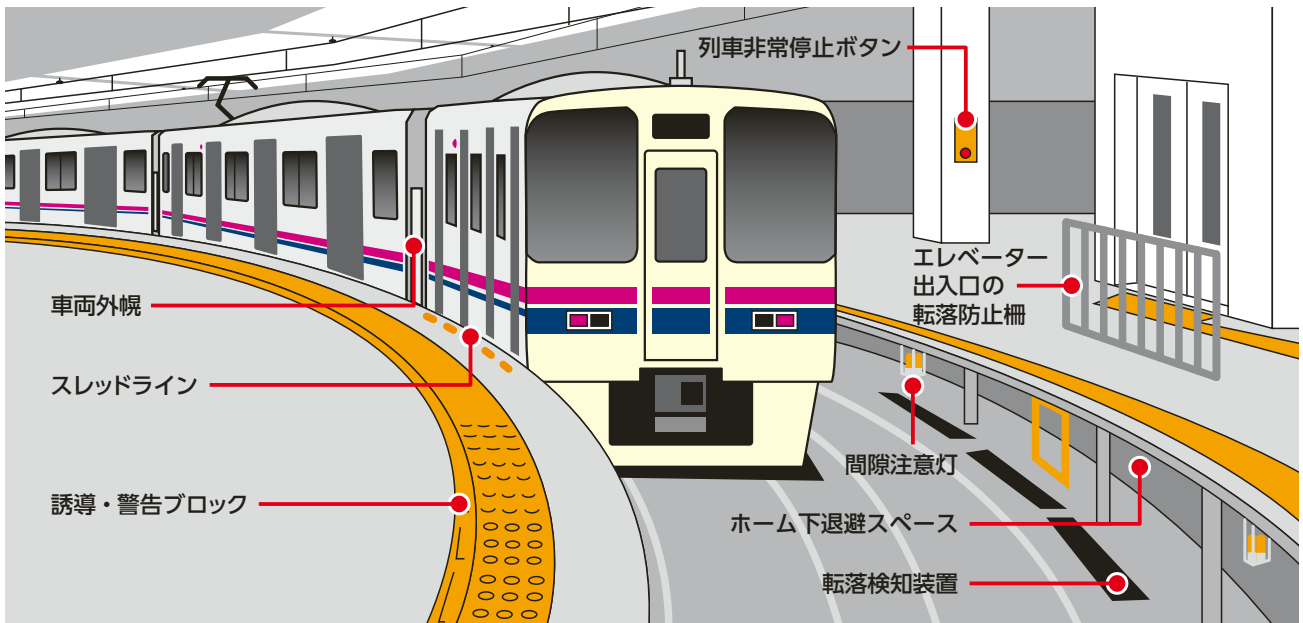
曲線部における軌道のねじれを測定し、国が定める平面性の基準値を満たすよう管理しています。

●レールの研削

レールの傷などをなくし、安定した列車の走行と騒音を軽減するため、レールを研削しています。

安全な鉄道の実現に向けた設備(ハード面)の取り組み

お客様のホームでの安全確保に努めています



●ホームドア

お客様のホームからの転落やホーム上での列車との接触事故を未然に防止するため、新宿駅でホームドア設置工事を進めています。2013年3月に3番線で使用を開始し、1番線および2番線については、2013年度の使用開始を予定しています。

また、調布駅付近連続立体交差事業の地下線への切替えにあわせて、国領駅、布田駅、調布駅にホームドアを設置しました。



新宿駅3番線



布田駅

●誘導・警告ブロック

目の不自由なお客さまを誘導・注意喚起するブロックを全69駅に設置しています。ホーム縁端部にある警告ブロックにはホームの内側を示す内方線の整備を進めています。



内方線付き点状ブロック

●間隙注意灯・スレッドライン

曲線ホームなど、車両とホームとの隙間が広く開いてしまう箇所がある12駅では、光の点滅で隙間をお知らせする間隙注意灯やスレッドラインを設置しています。



間隙注意灯



スレッドライン

●ホーム下退避スペース・ステップ

万が一、お客様がホームから転落された場合の緊急避難場所として、ホーム下退避スペースを整備しています。また、退避スペースのないすべての箇所には、ホームに上がりやすくなるためのステップを設置しています。



ホーム下退避スペース



ホーム下ステップ

安全な鉄道の実現に向けた設備(ハード面)の取り組み

●転落検知装置

曲線ホームなど、車両とホームとの隙間が広く開いてしまう箇所がある14駅に設置しています。万が一、お客さまがホームから転落された場合、この装置が転落を検知し、列車の乗務員や駅係員に知らせるとともに、ATC(自動列車制御装置)を介して列車にブレーキ制御の信号を送ります。



転落検知装置(マットスイッチ)

●列車非常停止ボタン

万が一、お客さまがホームから転落された場合などに、このボタンを押すことで、接近する列車の乗務員や駅係員などに非常を知らせるとともに、ATC(自動列車制御装置)を介して列車にブレーキ制御の信号を送ります。全69駅のホームに約20m間隔で設置しています。



列車非常停止ボタン

●車両外幌

ホームから車両連結部への転落事故を防ぐため、車両の連結部に外幌を設置しています。



車両外幌

●エレベーター出入口の転落防止柵

エレベーター出入口が線路側を向いているホームの一部では、転落防止柵を設置しています。



エレベーター出入口の転落防止柵

災害などへの対応力を強化しています

●地下駅火災対策

新宿駅における排煙設備および防火区画の設置工事や幡ヶ谷駅における新たな避難通路の設置工事などを行い、2008年度にすべての地下駅火災対策を完了しました。



新たに設置した避難通路(幡ヶ谷駅)



水の幕で防火区画を形成するウォータースクリーン(新宿駅)

●自然災害対策

自然災害に早期に対応するため、沿線に地震計・風速計・雨量計・水位計を設置しています。それぞれの計器で観測されたデータは運輸指令所をはじめとする各鉄道現業事務所において、24時間体制で監視しています。



安全な鉄道の実現に向けた設備(ハード面)の取り組み

●地震対策

沿線11カ所に地震計を設置しています。地震計が一定以上の震度を感知すると、列車無線を通じて自動的に全列車に警報を送るシステムを1998年に導入しています。地震発生の際の警報を聞いた乗務員は直ちに列車を安全な場所(最寄駅等)に停止させます。

また、震度4以上の地震発生が想定される場合、自動的に全列車に無線による警報や、ATC(自動列車制御装置)を介して信号を送り、列車を安全な場所に停止させます。

このほか、新たな耐震基準に見合う構造物とするため、引き続き高架橋柱などの耐震性向上策を行っています。



鋼柱増設によるずい道耐震補強



鋼板巻きによる高架橋柱耐震補強



耐震補強工事を進めている京王線多摩川橋梁

●帰宅困難者対策

大規模地震など災害が発生した際、帰宅が困難になったお客さま向けに飲料水と防寒アルミシートの備蓄を進めています。また、自治体と協力して帰宅困難者対策訓練などを実施しています。



新宿駅での帰宅困難者対策訓練の様子

●風対策

沿線17カ所に風速計を設置しています。瞬間風速が15m/s以上を観測した場合は速度規制を行い、瞬間風速が25m/s以上を観測した場合は列車の運転を中止するなどの措置を行います。

●雷対策

線路内の電気設備への落雷を防止する対策として、電車線より一段高いところに避雷針の役割を果たす「架空地線」と呼ばれる防護線の設置を進めています。

●雪対策

パンタグラフは従来のひし形のものより着雪面の少ないシングルアームパンタグラフを採用しています。また、分岐器(ポイント)に電気融雪器を設置しているほか、車両基地等の電車線には着雪・着氷を防ぐためにヒーターを内蔵した電線を使用しています。



シングルアームパンタグラフ

●鉄道テロ対策

全69駅への防犯カメラの設置、ゴミ箱の撤去を行うほか、係員や警備員の巡回により、不審者・不審物などの監視を行っています。また、車両基地などへの不審者侵入を防ぐために、防犯センサーの設置や警備員による巡回を実施しています。

このほか、警察署や消防署などとともに訓練を行っています。

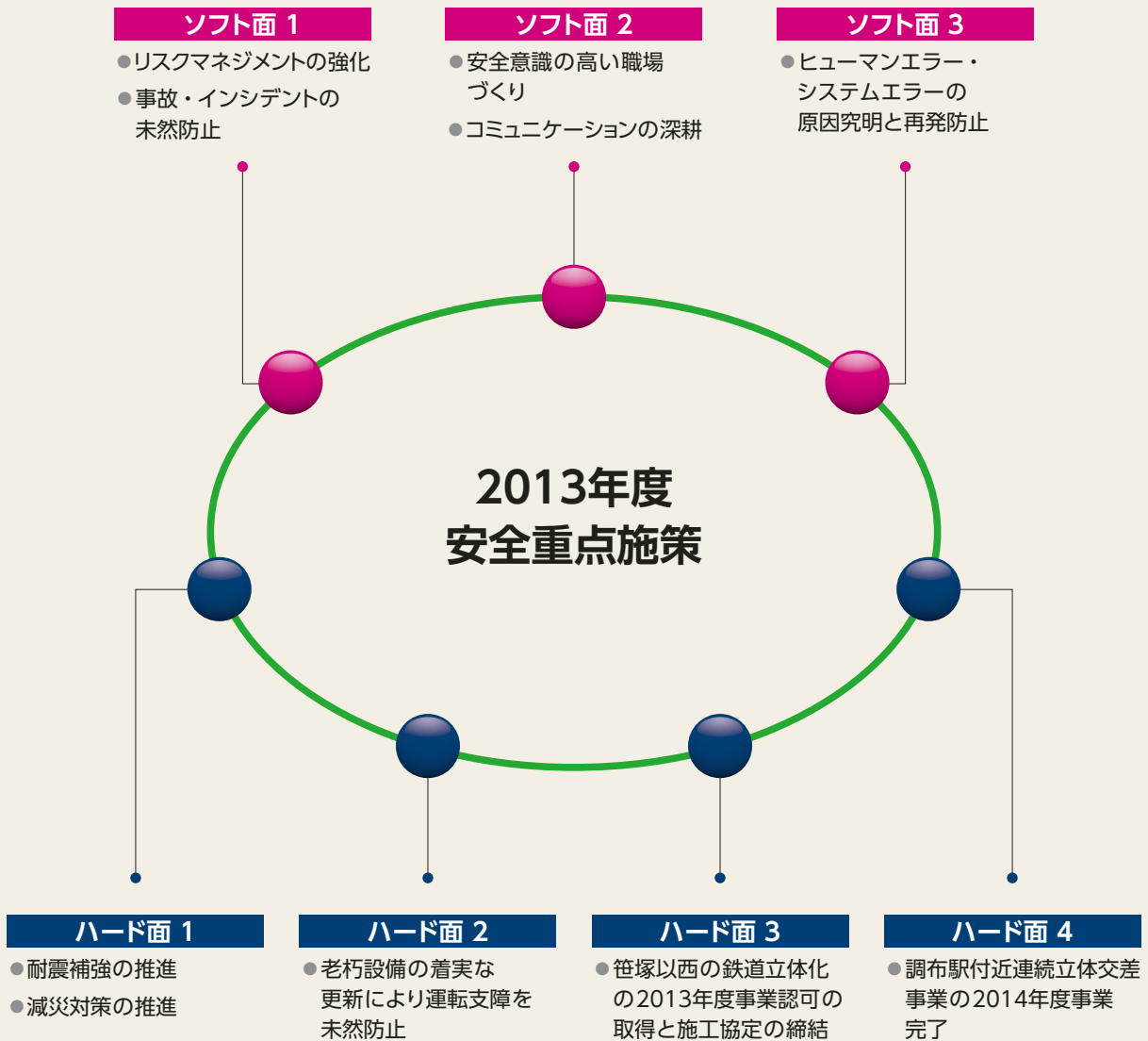


調布駅でのテロ対策訓練の様子

2013年度 安全重点施策

2013年度安全スローガン

「安全は基本動作の積み重ね 大きな声で指差確認 一人ひとりが責任者」



お客さまとの連携

■鉄道運行情報

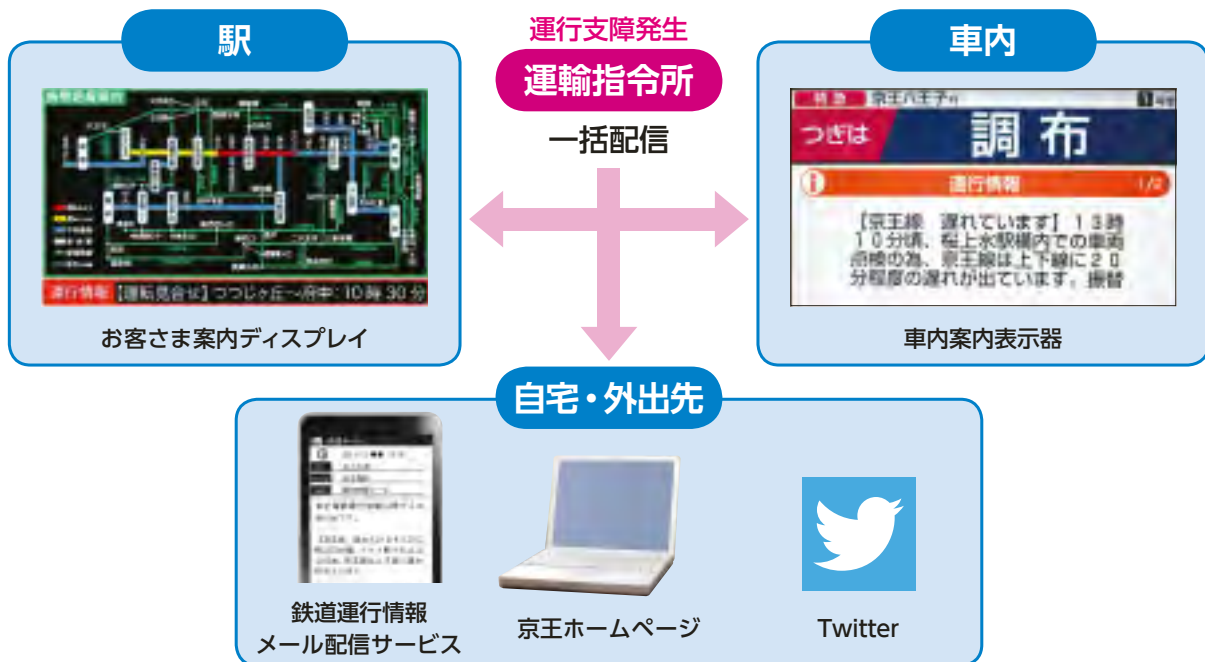
ダイヤ乱れなど、列車の運行に支障が生じた場合、文字情報・音声・路線図のいずれか、または組み合わせにより、お客さまに分かりやすく鉄道運行情報をお届けしています。

文字情報については、ホームに設置の「行先案内板」、車内に設置の「案内表示器」のほか、ご登録いただいたお客さまの

携帯電話への「鉄道運行情報メール配信サービス」、Twitterでの情報提供を行っています。

路線図については、文字情報とともに、改札付近に設置の大型液晶モニター「お客さま案内ディスプレイ」および京王ホームページにて提供しています。

また、ディスプレイなどに表示される文字情報は、音声に変換され全69駅で放送しています。



■こども110番の駅

京王線・井の頭線全駅を「こども110番の駅」にし、子どもが不審者などから助けを求めてきた場合に、保護し、事情を伺い、必要により子どもに代わって110番通報やご家族への連絡などを行っています。



こども110番の駅
認定ステッカー

■京王ニュース

鉄道の安全への取り組みなどについてお知らせする広報誌「京王ニュース」を毎月発行しています。

■京王ホームページ

ホームページでは、京王グループの最新情報、電車・バスのご案内をはじめ、IR・企業情報や沿線情報などを掲載しています。事故や災害などで列車の運行に遅延が生じた場合には、京王ホームページや携帯電話のサイト「京王ナビ」などにより、運行情報をお知らせするサービスを行っています。



京王
ホームページ

お客さまへのお願い・お客さまの声

■お客さまへのお願い

警報機が鳴り始めた	踏切内に入らないでください。
踏切内で異常があった	踏切脇にある踏切支障報知装置(非常ボタン)を押してください。
踏切に車が閉じ込められた	遮断かんを押すように車を前進させると、遮断かんが斜め上に持ち上がりますのでそのまま脱出してください。 万が一脱出できないときは、踏切支障報知装置(非常ボタン)を押してください。
ホームから転落した	ホーム下退避スペースに逃げてください。 退避スペースのない場合はホーム下ステップを使用してホームに上がってください。
ホームから転落した人を発見した	列車非常停止ボタンを押してください。
線路に物を落とした	絶対に線路内には立ち入らないでください。 ホームインターホンなどにより駅係員に連絡してください。
電車に間に合わない	発車間際の駆け込み乗車をなさいますと、ホームで転んだりドアにはさまれたりして思わぬ怪我をすることがあります。無理をなさらないでください。
駅ホーム・電車内で不審者・不審物を見つけた	駅係員・乗務員にお知らせください。不審物はそのままにして、手を触れないでください。
電車内で異常があった	車内非常通報器の通報ボタンを押して乗務員へ連絡してください。なお、通話機能がない車両は、停車後に乗務員が対応いたしますので、指示に従ってください。

■京王お客さまセンター

お客さまからお寄せいただいたご意見に対し、適切な対応を図り、安全性向上に生かしております。

お客さまの声の一例

1

お客さまからのご意見

乗車した7000系車両の振動が激しかった。

当社の対応

ご指摘をいただきました情報を基に、車輪の振動を自動的に検出する装置及び目視点検にて確認しましたところ、車輪踏面に軽微なフラットが確認されました。他車両も含め定期検査の中で再確認し車輪削正もしくは、輪軸交換の対応をいたします。

2

お客さまからのご意見

乗車した8000系車両よりこすれるような不快な金属音が発生していました。車両整備の時に音の発生原因を調べて対処をお願いします。

当社の対応

点検において、異常は確認されませんでした。連結器付近から一時的に発生した音と思われます。今後も監視を継続すると共に日常の点検を強化し、安全な車両を提供してまいります。

グループ会社の安全対策

● 運輸安全マネジメントに基づく安全対策

京王沿線を主な事業エリアとする京王電鉄バスグループ、多摩西部を中心に事業を展開する西東京バス、タクシー・ハイヤー事業を行う京王自動車、引越などの総合物流業務を行う京王運輸、御岳山でケーブルカーなどを営業する御岳登山鉄道の京王グループ運輸業各社では「運輸安全マネジメント」に取り組み、安全管理規程の制定、事故件数削減目標の設定、

安全意識の向上などを行うとともに、安全関連情報をホームページで公表しています。

また、社長以下役員が営業所を巡回し、安全管理体制の確認や、営業所員・乗務員と安全に関する意見交換を行うなど、積極的なコミュニケーションを通じて、輸送の安全確保を図っています。

主な推進活動

● バス

● 京王電鉄バスグループ

安全運転技術の維持・向上を目的として、全車両にドライブレコーダー※1を導入しています。また、関東の各民営バス会社に先駆けて「運転訓練車」を導入しました。「運転訓練車」には、アイマークレコーダー※2や安全確認装置※3などにより、運転の様子を映像と音声で記録するとともに、運転状況をチェックできる車内モニターが備えられています。

さらに、安全運転中央研修所で行われる「バス運転実技4日コース」に乗務員が参加し、通常では体験できない運転上の危険などを体験することで、安全運転に対する意識の向上

を図っています。

そのほか、左折時や進路変更時の事故防止を目的として左折チャイムを導入し、路線バスに車内確認用の補助ミラーを設置しました。

※1 ドライブレコーダー：車内外に設置されたカメラとマイク（集音装置）により映像・音声情報を記録・再生する装置です。

※2 アイマークレコーダー：乗務員が装着したカメラで目の動きを映像化して記録する装置です。

※3 安全確認装置：乗務員が安全確認を必要とする箇所を点灯などで示す装置です。



ドライブレコーダー



運転訓練車



運転訓練車内のモニターで運転操作をチェック



アイマークレコーダーを装着した運転訓練

●西東京バス

西東京バスでは、毎年、全営業担当員（運転者）を対象とした「営業担当員定期研修」を約50回開催しています。この研修は、社長懇談会、事故防止研修、運転実技訓練の3部から構成され、まず社長懇談会では、社長が会社方針の説明を行うほか質疑応答を通じ、直接対話することで、現場の声を安全対策につなげています。

次に事故防止研修では、座学教育で運転者の「運転特性」「運転の癖」「運転の弱点」の自覚を促し、事故の未然防止・再発防止につなげています。運輸安全マネジメント、事故の根本原因分析、ヒューマンエラーの発生メカニズム、全車両に搭載しているドライブレコーダーの映像による事故事例研究などの基本カリキュラムに加え、バスジャックマニュアルの改訂などその時々の特ピックスも学ぶようにしています。

実技訓練では、実際に発生した全事故の分析結果をベースに、障害物などを配置した全長約600mの実技コースを走行し危険箇所を体験することで、注意すべきポイントや対処法を身に付けるようにしています。



運転実技訓練の様子



ドライブレコーダーの映像を使った研修

●タクシー

京王自動車では、「運転の基本動作」の徹底に向けて、「無事故・無違反コンテスト」や、「小集団活動」の中で、乗務員同士がドライブレコーダーの「日常画像」を視聴しながら互いの「運転の基本動作」をチェックする活動などを行っています。



ドライブレコーダーのモニタリング画面

●トラック

京王運輸では、2008年に（公社）全日本トラック協会が認定する「安全性優良事業所」の取得率100%（全6事業所）を達成しました。（業界全体の取得率は21.6%）



安全性優良事業所に交付される「Gマーク」が貼付されたトラック

社会性報告



特集

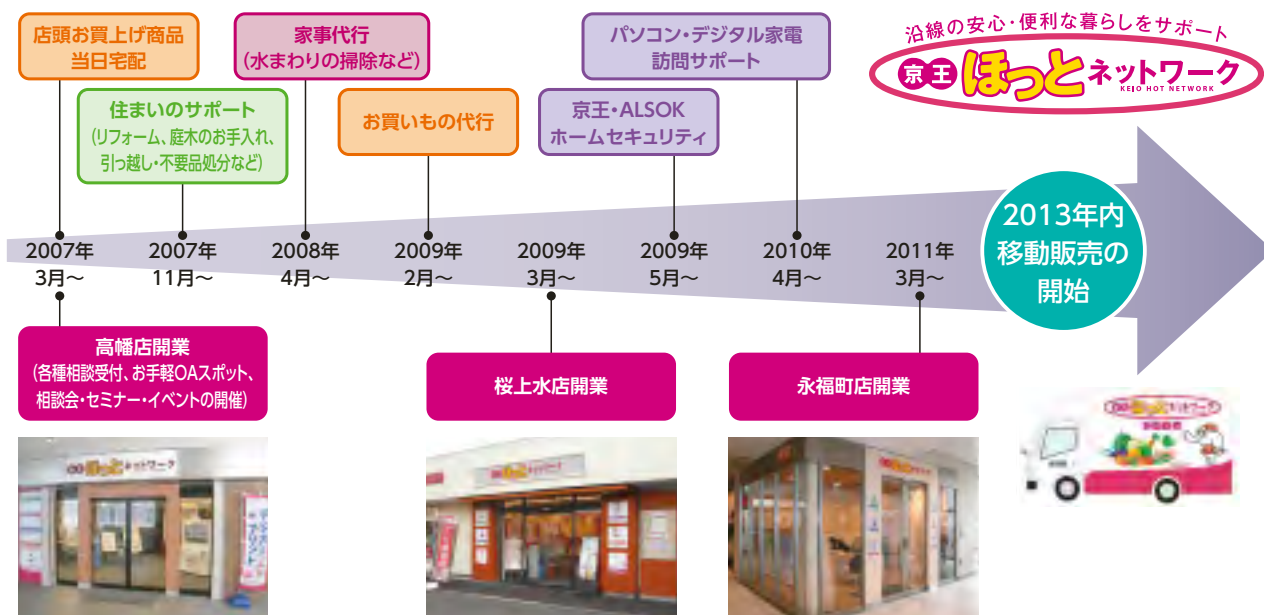
沿線活性化の取り組み

京王電鉄は、「住んでもらえる、選んでもらえる沿線」を目指して、暮らしに役立つさまざまなサービスを提供しています。

■お客さまのニーズにお応えすることで進化する“京王ほっとネットワーク”

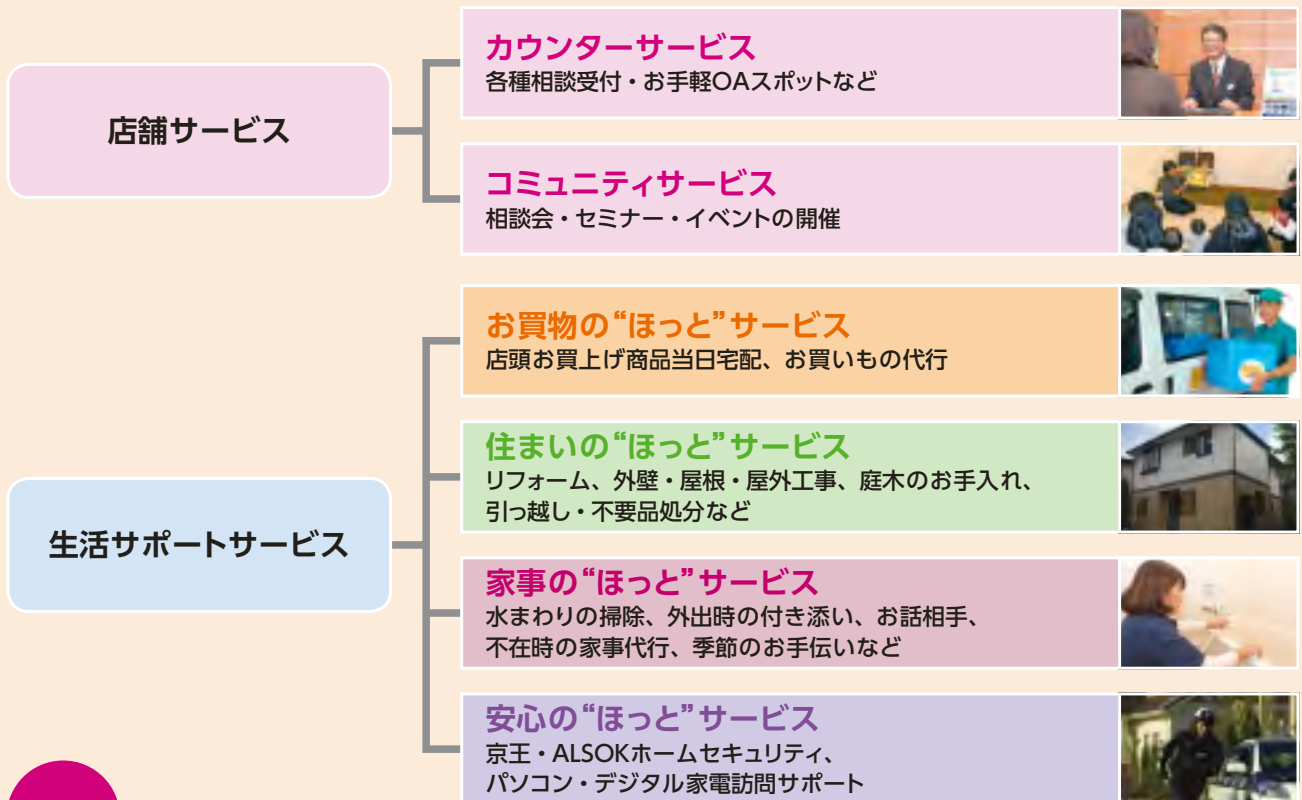
京王グループでは、少子高齢化が進むなか、高齢者世代が生き生きと暮らせる街づくり、子育て世代が暮らしやすくなる街づくりに積極的に取り組んでいます。2007年からスタートした生活サポートサービス“京王ほっとネットワーク”は、お客さまのニーズにお応えすることで、サービスメニューを拡大してきました。

顧客ニーズから「生活サポートサービス」を拡充



“京王ほっとネットワーク”の新たなサービス

“京王ほっとネットワーク”には、高幡・桜上水・永福町の3店舗での店舗サービスと、お買い物や家事の代行、リフォームやホームセキュリティなどを行う生活サポートサービスがあります。2013年内には、新たなサービスとして多摩ニュータウンを中心としたエリアで、日常のお買い物に不便がある高齢者の方を対象に、生鮮品をはじめとする食料品などの移動販売を開始します。



NEW!

移動販売サービス※

日常の買い物不便を解消

- 多摩ニュータウンを中心とした生鮮品をはじめとする食料品などの販売
- 生活サポートサービスの紹介や受付



※移動販売の実施に先立ち、地元自治体である多摩市と地域の持続的な発展に資することを目的として「地域発展の推進に関する包括連携協定」を締結しました。

※このサービスは、経済産業省の「地域自立型買い物弱者対策支援事業」の補助対象です。

お客様の声

忙しくても家族の時間をつくれます

東京都世田谷区 T.Y様(33歳・女性)

自宅(2階建て)の各部屋の基本的な掃除をお願いしています。わが家は夫婦共働きで子どもがまだ小さいので、家事の中で一番負担が大きい掃除の手助けが欲しいと考えていました。京王ほっとネットワークのおかげで、忙しい中でも家族と一緒に過ごせる時間をつくることができます。

定期的にか家全体の清掃を依頼

東京都府中市 Y.O様(64歳・男性)

キッチンやお風呂、トイレなどの定期的な清掃で利用しています。プロならではの仕上がりに満足していますし、家の中が常にきれいに保てるのは気持ちの良いことです。週末の自分の時間が増えたこともうれしいですね。京王のサービスは信頼性が高いのでこちらを選びました。

お客さまの利便性・快適性の向上

すべてのお客さまに安心してご利用いただくため、鉄道・バスなどの交通機関やショッピングセンターなどのバリアフリー設備の充実を進めています。また、列車の運行情報を迅速かつ分かりやすくお知らせする機能や、駅や車内でより快適にご利用いただくための環境整備などに取り組んでいます。



バリアフリーの充実

駅設備

●エレベーター・エスカレーター・スロープ

全69駅の入出口から各ホームまで、階段などの段差がなく移動できるよう、エレベーター・エスカレーター・スロープを設置しています。

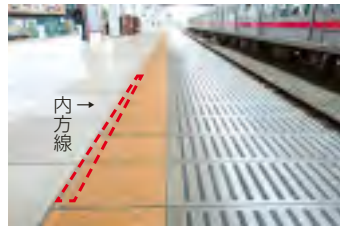


エレベーター

エレベーターは66駅に、エスカレーターは46駅に設置しています。

●誘導・警告ブロック

目の不自由なお客さまを誘導・注意喚起するブロックを全69駅に設置しています。



ホーム縁端部にある警告ブロックにはホームの内側を示す内方線の整備を進めています。

内方線付き点状ブロック

●だれでもトイレ

車いすをご利用のお客さまや小さなお子さま連れのお客さまにも安心してご利用いただける多機能トイレを67駅に設置しています。



だれでもトイレ

また、オストメイト対応の水洗器具も整備しています。

●触知案内図・点字による案内

どなたにも駅構内の施設の配置をご確認いただけるよう、凹凸・点字・ピクトグラム(案内用図記号)を用いた案内図を68駅に設置しています。



触知案内図

また、自動券売機には点字または音声案内機能を備えているほか、点字運賃表を全69駅に、点字手すりを必要な箇所すべてに設置しています。

●幅広自動改札機

車いすをご利用のお客さまや大きな荷物をお持ちのお客さまなどにご利用いただけるよう、通路幅の広い自動改札機を68駅に設置しています。

●自動券売機の蹴込み

車いすのお客さまにご利用いただけるよう、つま先部分に蹴込みを設けた自動券売機を設置しています。



自動券売機の蹴込み

●音声音響案内

目の不自由なお客さまに駅施設の配置などを音声または音響でお知らせする装置を全69駅に設置しています。ホームの階段は鳥の鳴き声、改札口などはチャイムでお知らせしています。



音声音響案内



● 階段の明度差

階段の段差を視覚的に認識しやすいよう、全69駅の階段踏面の端部に明度差をつけています。



明度差のある階段

● 車内設備

● 車いすスペース

車いすスペースを京王線・井の頭線車両の全編成に設置しています。



車内車いすスペース

● 点字シール

目の不自由なお客さまが、ご乗車になっている車両の号車・ドア位置が分かるよう、車両のドアに点字シールを貼付しています。



車内点字シール

● ユニバーサルデザイン

新造車両の導入や既存車両のリニューアルでは、ユニバーサルデザインの考え方を採り入れ、つり革や荷棚の高さを低くし、手すりやつり革は握りやすい形状にしています。さらに座席端部に仕切り板を設置するなど、車内環境の整備を進めています。



ユニバーサルデザインによる車内例

● 案内表示器・ドアチャイム

停車駅などを文字でお知らせする案内表示器 (LEDまたは液晶画面) と、ドアの開閉を音でお知らせするドアチャイムを京王線・井の頭線車両の全編成に設置しています。



LED式の案内表示器



液晶画面を用いた案内表示器

● 開閉予告表示灯

車両のドアが開閉することを光の点滅でお知らせする開閉予告表示灯を、京王線の一部車両の各ドア上部に設置しています。

● バス

京王電鉄バスグループおよび西東京バスは、2012年3月に路線バス (高速・貸切を除く) の全車両がどなたにも乗り降りしやすいバリアフリー対応となりました。

車体が傾斜し床面が下がり乗降しやすくさせるニーリング機能のあるノンステップバス937両をはじめ、リフト付きバス45両、スロープ板付きワンステップバス13両を導入しています。



ノンステップバス (ニーリングタイプ)

● タクシー

京王自動車では、2012年12月から八幸自動車 (株)、ニュータウン交通 (株) と共同で、誰もが利用しやすいユニバーサルデザイン (UD) タクシーを導入しました。



UDタクシー

お客さまの利便性・快適性の向上

ショッピングセンター

京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンターでは、お身体の不自由なお客さまや乳幼児をお連れのお客さまなど、どなたでも安心してご利用いただける「だれでもトイレ」の整備をはじめ、身体障がい者用駐車場の設置、段差の解消などに取り組みました。またピクトサインを大型化し、視認性を向上させた案内サインに更新しました。さらにはAED(自動体外式除細動器)の使用法や心肺蘇生法などを習得する「救命講習会」をテナント従業員向けに開催しています。

また京王八王子ショッピングセンターでは、京王八王子駅構内のバリアフリー化にあわせ、直結する館内への通路・エレベーターの一部をバリアフリー化しました。



京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター「だれでもトイレ」



ピクトサインを大型化した館内案内サイン

百貨店

京王百貨店新宿店は、多くのシニア層のお客さまが安心・快適にご利用いただけるよう、各階に休憩場所を設けるなど、きめ細かな対応を行ってきました。

1階から8階までの各階に「だれでもトイレ」を設置したほか、床のフラット化や、フィッティングルームへの手すりの設置などを行っています。

また、店内では、耳の不自由なお客さまのお役に立つように、手話の読み取り・表現において一定レベルに達した社員が「手話アシスタント」として接客しています。資格認

定後も毎年フォロー研修を継続し、お客さまに一定水準のサービスが提供できるよう努めています。さらに、8階の介護用品売場では介護福祉士や社会福祉士がお客さまのお手伝いをしています。



手話アシスタントによる接客



京王百貨店新宿店4階の化粧室

霊園

西東京バスが管理運営する都内三大民間霊園の一つである八王子上川霊園には、開放的な欧風庭園をイメージし、車いすでも移動しやすい完全バリアフリー対応の区画「ヴェルデの庭」があります。また、無料休憩所の緑葉会館にも「だれでもトイレ」を設置し、人にやさしいつくりになっています。



ヴェルデの庭

●ホテル(京王プラザホテル)

●ユニバーサルルーム

1988年にアジア地域初の「世界リハビリテーション会議」の会場となったことがきっかけとなり、バリアフリーを推進してきました。2002年3月には、ホテルをご利用いただいたお客様の声や専門家の指導をもとにデザインした新しいユニバーサルルームを10室設置しました。また、2003年から2004年にかけて本館2階と南館4階にユニバーサルトイレを、2007年には補助犬ユーザーの方々の声を参考に設計した「補助犬専用トイレ」をロビーの外側に設置しました。



ユニバーサルルーム

●コルク回収・リサイクル

2012年2月から宴会場で提供したワインやシャンパンのコルク栓を集め、資源のリサイクルと障がい者の就労支援に取り組んでいるNPOに寄贈しています。集まったコルクは、学校の教材や雑貨に製品化されます。



コルク栓の回収

●ボランティア・プラザ

バリアフリーやエコロジーの取り組みを多くの方に知っていただき、それを社会貢献につなげることを目的に、2004年からチャリティイベント「ボランティア・プラザ」を開催しています。2013年3月の第10回「ボランティア・プラザ」では、チャリティバザーなどに加え、震災復興支援の一環としてJAいしのまき桃生ガーベラ部会から仕入れたガーベラ1,000本を販売し、収益金は日本赤十字社やJAいしのまきなどへ寄付しました。



ボランティア・プラザの様子

●バリアフリー推進活動

さまざまなお客様の目線でソフトの充実化を図ることがお客様満足度の向上につながると考え、「バーズアイ」プロジェクトとして全社から約20名が公募で集まり、バリアフリー(おもてなしサービス)や社会貢献などをテーマに活動しています。



震災ボランティアの活動

お客さまの利便性・快適性の向上

分かりやすい情報の提供

●行先案内板

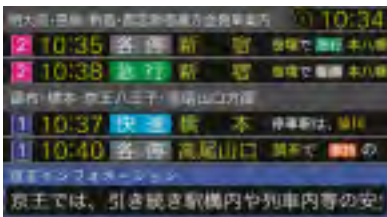
列車の発車時刻や種別・行先・停車駅などを文字でお知らせする案内板を全69駅に設置しています。



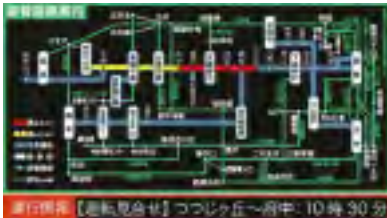
行先案内板

●お客さま案内ディスプレイ

通常時は電車の発車案内などを表示するほか、事故や災害などで列車の運行に支障が発生した時には、支障区間や振替輸送経路などを、視覚的に分かりやすく表示する「お客さま案内ディスプレイ」を66駅の改札口付近に設置しています。



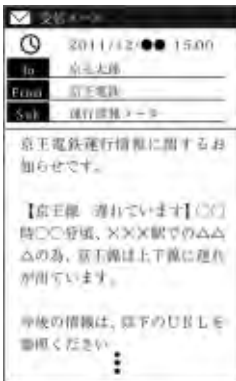
通常時表示例



異常時表示例

●列車運行情報提供サービス

事故や災害などで列車に遅延などが発生した際、駅のお客さま案内ディスプレイや車内案内表示器、「京王ホームページ」、携帯電話のサイト「京王ナビ」などで運行情報をお知らせしています。また、「KEIO MOBILE NEWS」からご登録いただいたお客さまへ、最新の列車の遅延情報などをメールでお知らせするほか、Twitterでもお知らせしています。



メール配信イメージ



Twitter

●サービススタッフ

不慣れなお客さまにも安心してご利用いただけるよう、運賃や所要時間、乗り場や駅周辺の施設などの案内を専門に行う「サービススタッフ」を新宿駅、新線新宿駅、渋谷駅に配置しています。



サービススタッフ

●外国語による情報提供

外国人のお客さまに対して、駅の看板や電車内の案内表示器などで4カ国語表記(日・英・中・韓)によるご案内を行っています。また、一部の車両には自動放送装置を導入し、日本語と英語による停車駅や乗り換えなどのご案内を実施しています。

●高尾山外国語ガイドブック

外国人のお客さまにより高尾山を満喫していただけるよう、高尾山の魅力や観光スポット、山頂までの登山ルートを紹介したガイドブックを4カ国語表記(日・英・中・韓)で作成しています。



中韓版

日英版

快適な空間の提供

●ホーム待合室

電車が到着するまでの間、快適にお待ちいただけるよう、冷暖房付きの待合室を58駅に設置しています。



ホーム待合室

●お客さま用トイレの環境改善

より快適で清潔感のあるトイレを目指して、改修を行っています。



リニューアルした渋谷駅のトイレ

●女性専用車

2000年に実施した試験結果を踏まえて、2001年から平日23時以降に新宿駅発の急行系列車の最後部1両を女性専用車として運行を開始し、2005年から平日朝間・夕間の通勤時間帯にも拡大しました。

なお、女性専用車には女性のお客さまのほか、小学生以下のお客さま、お身体の不自由なお客さまとその介助者もご乗車いただけます。



女性専用車案内ステッカー

●おもいやりゾーン

京王線・井の頭線全車両で車内の優先席を明確にするため、優先席付近のつり革や座席の色を変えた「おもいやりゾーン」を設置しています。「おもいやりゾーン」付近では医療機器を使用しているお客さまをお守りするため、携帯電話の電源をお切りいただくようご案内しています。



おもいやりゾーン



優先席案内ステッカー

お客さまの利便性・快適性の向上

輸送サービスの利便性向上

●鉄道のダイヤ改定

2013年2月に京王線・井の頭線のダイヤ改定を実施しました。相模原線に「特急」を新設したほか、早朝時間帯における上り「特急」の新設、終電の繰り下げなどを実施し、利便性の向上を図りました。



●IC金額定期券、通勤高速バス「楽々(らくらく)エクスプレス」

西東京バスでは2013年4月から、定期券に設定した運賃内なら西東京バス全路線が乗り放題の新しい定期券「IC金額定期券」のサービスを開始しました。IC金額定期券は、例えば通勤ルートが行きと帰りで異なる場合でも、定期券に設定した運賃内なら1枚の定期券でご利用いただけます。この他にも、乗り越した場合は定期券との差額のみで精算、お手持ちのICカードに書き込むだけで電車とバスの定期券を一枚に統合、さらにICカードの6カ月定期券の導入など、利便性が向上しました。

また、青梅・福生・拝島方面から新宿駅西口・四ッ谷・新橋駅へ早朝の通勤に乗り換えなしで便利な「通勤高速バス『楽々(らくらく)エクスプレス』」の運行を開始しました。



楽々(らくらく)エクスプレス

●バス運行状況案内システム

西東京バスでは、リアルタイムに路線バスの運行状況が分かる案内サービスを全エリアで開始しました。主要停留所(京王八王子駅・JR八王子駅北口・高尾駅北口など)25カ所に設置した音声案内機能付きのLED表示機で運行状況を提供しています。その他の停留所においては、バス到着時刻や目的地までの所要時間などを予測し、パソコン・携帯電話・スマートフォンに情報提供しています。



リアルタイム運行状況

●タクシー呼出アプリ

京王自動車では、2013年2月から多摩・相模原地区、2013年5月から都区内、武蔵野・三鷹地区において、スマートフォンのアプリを使用してタクシーを呼び出せる「タクシー呼出アプリ」サービスを開始しました。このアプリはスマートフォンのGPS機能と既存の無線配車サービスを活用し、お近くにいる配車可能なタクシーをご案内するもので、無料でダウンロードいただけます。



メニュー画面

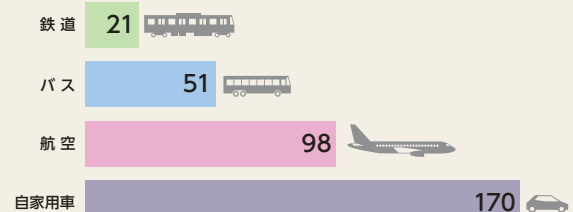
TOPICS

公共輸送機関の利用促進

鉄道やバスは、エネルギー効率の優れた交通手段です。他の交通手段から鉄道やバスにシフトしていただくことで、CO₂排出量削減が期待できます。京王グループは、鉄道やバスの安全・快適性を高めることで、より多くの方々にご利用いただけるよう努めています。

輸送量当たりのCO₂排出量(2011年度)

(単位: g-CO₂/人キロ)



出典:国土交通省HP(運輸部門におけるCO₂排出量)

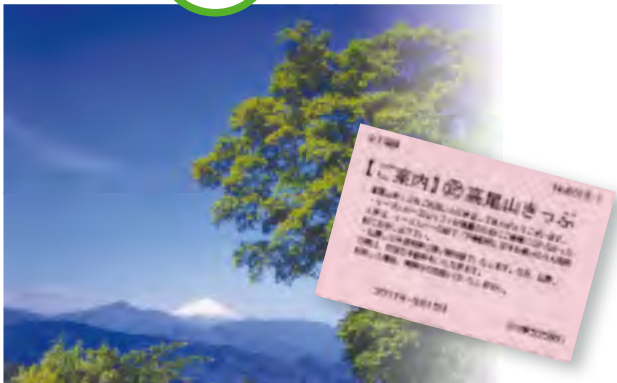
●高尾山きっぷ

京王線・井の頭線の各駅から高尾山口駅までの往復割引乗車券と、高尾山ケーブルカーまたはリフトの乗車券（往復または片道）がセットになったきっぷを販売しています。

高尾山へ



高尾山きっぷ



●TOKYO探索きっぷ

京王線・井の頭線の各駅から新宿駅までの往復割引乗車券と、都営地下鉄、都営バス、都電荒川線、日暮里・舎人ライナーの一日乗車券（大人700円、小児350円）がセットになったきっぷを販売しています。

都心へ



TOKYO探索きっぷ



お客さまとの対話

お客さまからお寄せいただいたご意見に対し、適切な対応を図ることで、さらに安全な鉄道づくりにつなげています。また、ご理解と信頼をいただくために、さまざまな情報を提供しています。

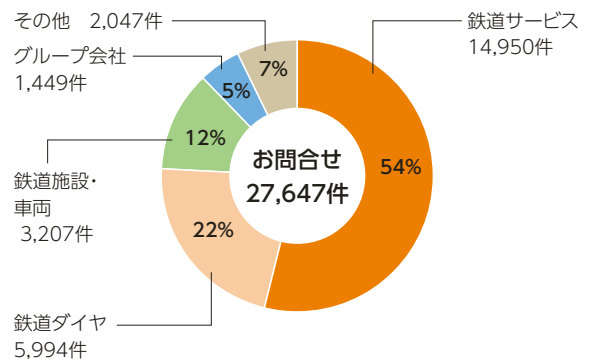
●京王お客さまセンター

当社では「京王お客さまセンター」を設け、お電話やメール、お手紙などによりお客さまからのご意見ご要望をいただいております。2012年度はご指摘、お褒めの言葉などあわせて27,647件のご意見を頂戴し、うち24,151件は鉄道に関するものでした。いただいたご意見に対しては、速やかに回答させていただいているほか、担当部署においてサービス向上や従業員教育に活用させていただいております。

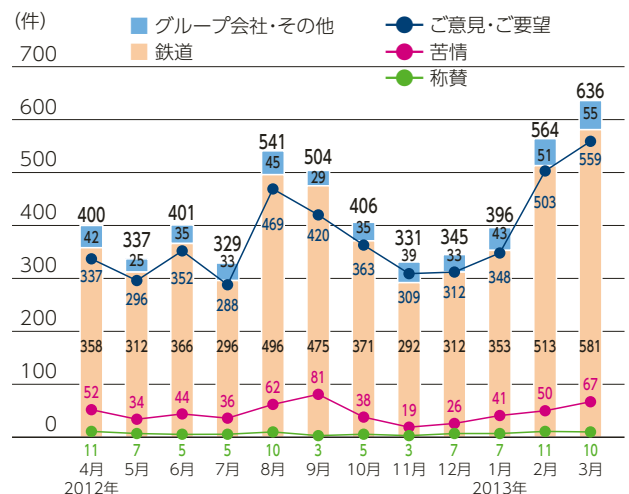
お電話 042-357-6161 FAX 042-371-1469

受付時間9：00～19：00年中無休（年末年始を除く）

●お客さまの声



●「お客さまの声」受付件数



地域社会への貢献

子育て世代や高齢者が生き生きと暮らせるよう、次世代育成への取り組みや地域貢献を行っています。



次世代育成への取り組み

●乳幼児保育

京王沿線における子育て支援サービス全般の運営を行う京王子育てサポートは、東京都認証保育所「京王キッズプラッツ」を、永福町、千歳烏山、東府中、高幡不動、京王多摩川、南大沢にて運営しています。2014年2月には、京王よみうりランドにも開設予定です。また、世田谷区の子育て支援複合施設「子育てステーション烏山」において、一時預かり、親子ひろば、病後児保育の受託運営も行っています。

●学童保育

京王グループは2011年7月、民間学童保育施設「京王ジュニアプラッツ」を千歳烏山に開設しました。「知育(学習)」「徳育(社会性)」「体育(健康増進)」にバランスのとれたプログラムで、小学生のお子さまに安心安全で有意義な放課後生活を提供し、健全な成長をサポートしています。

2012年4月からは、指定小学校からのお迎えサービスも開始するなど、サービスの充実を図っています。



年齢にあわせた作品づくり



全身運動の様子

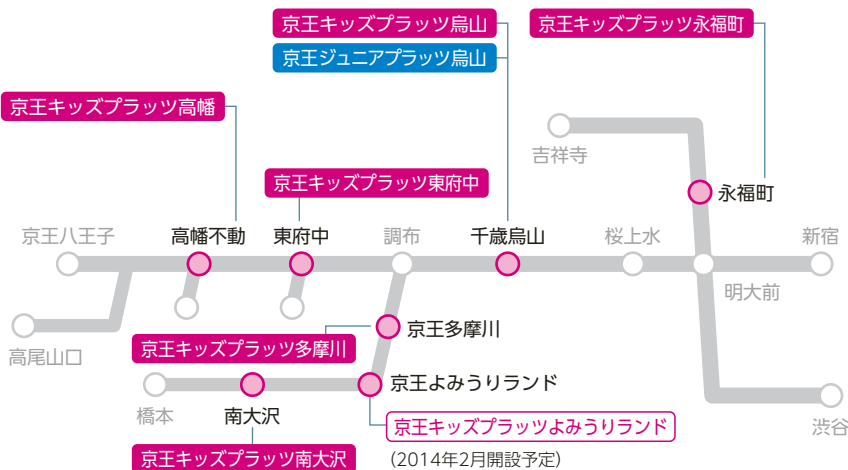


一人ひとりと向き合うプログラム



プログラム「おもしろ実験」の様子

●京王キッズプラッツ・京王ジュニアプラッツ施設一覧



キッズ星人
©Taro Miura

子どもたちが楽しく元気に過ごせる場であることを表現したキャラクター「キッズ星人」

●京王キッズおしごと隊

京王グループへの理解を深めていただくことを目的として、夏休み期間中に、小学生とその保護者の方を対象に、京王グループのさまざまな職場で実際の仕事を楽しく学べる職業体

験プログラム「京王キッズおしごと隊～ぼくの、わたしのお仕事体験～」を2009年から実施しています。



職業体験の様子

2013年開催の京王キッズおしごと隊概要

京王電鉄	駅のおしごとを体験しよう！	京王食品	オリジナルパンを作ろう！
	電車の乗務員のおしごとを体験しよう！	京王グリーンサービス	お花屋さんになって花束を作ろう！
	電車の仕組みを知ろう！	京王不動産	家づくりを学ぼう！
	電車の整備のおしごとを知ろう！	リビタ	リノベーションで住まいづくりを体験しよう！
京王電鉄バスグループ	バスのおしごとを体験しよう！	京王プラザホテル(新宿)	ホテルのおしごとを体験しよう！
御岳登山鉄道	ケーブルカーのおしごとを体験しよう！	京王エージェンシー	カメラマンになってスタジオで撮影しよう！
京王百貨店	百貨店でプレゼント包装をしよう！	京王レクリエーション	テニスの楽しさを体験しよう！
京王ストア	スーパーのおしごとを体験しよう！	京王設備サービス 杉並公会堂	最高級のコンサートホールでおしごとを体験しよう！
京王書籍販売	本屋さんのおしごとを体験しよう！	京王子育てサポート	保育士さんになって一緒に遊ぼう！
京王アートマン	京王アートマンのおしごとを体験しよう！		

●京王沿線子育てファミリーお出かけマップ

京王電鉄では、「京王沿線子育てファミリーお出かけマップ2012」を作成し、京王線・井の頭線の全69駅で2012年4月から配布しました。

このマップでは、アミューズメント施設や飲食店、子育てに便利なグッズの店舗や施設など、お子さま連れのファミリーに楽しくお過ごしいただける京王線・井の頭線沿線のスポットをご紹介しますとともに、最寄り駅のバリアフリー設備などをご案内しています。



京王沿線子育てファミリーお出かけマップ2012

地域社会への貢献

●高尾山峰中(ぶちゅう)修行体験合宿

豊かな自然に囲まれた高尾山で、子どもたちが座禅、法話、写経、水行など、高尾山薬王院の修行体験を通して、「新しい友達をつくる」「自然に触れて自然を大切にする」「心に残る思い出をつくる」ことを目的としています。1970年から2013年までに41回実施しています。



座禅



水行



自然観察ラリー

コミュニティづくり

●街はぴ

沿線のお客さまからの情報発信により街の魅力を共有するため、2007年に開設した京王沿線クチコミ情報サイトです。お出かけやグルメなど、沿線ライターの魅力的な記事が京王線・井の頭線の全69駅ごとに展開されています。また、「てんきち母ちゃんの今週の晩ご飯」などの特別企画も連載され、子育て世代に役立つ情報もいっぱいです。

街はぴ
QRコード



〈モバイル〉



〈スマホ〉



街はぴ



街はぴキャラクター

●リえんと多摩平

2011年に築約50年の団地5棟をリノベーションした「たまむすびテラス」は、高齢者住宅、ファミリー向けの菜園付賃貸住宅、そしてリビタが企画・設計・運営する“シェアハウス”「リえんと多摩平」で構成する多世代コミュニティです。

リビタの企画から運営までのノウハウも活かし、まちびらきイベント以降もどんど焼き、さくらまつりなどを開催して住人の世代を超えた交流が広がっています。また、フリーマーケット、音楽ライブ、写真展などを通じて団地と地域とのつながりも広がっています。

人々が集う新たな場所へと生まれ変わらせたことが評価され、「たまむすびテラス」は（公財）日本デザイン振興会が主催する「2012年度グッドデザイン賞」を受賞しました。



たまむすびテラスでのイベントの様子



リえんと多摩平

充実したシニアライフ

●アリストージュ経堂

京王初のシニアレジデンス事業として、2012年8月に世田谷区に介護付有料老人ホーム「アリストージュ経堂」が入居を開始しました。

京王ウェルシステージが事業の運営主体となり、安心の医療と充実した介護、京王グループ各社が連携した生活サービスを提供することにより、充実したシニアライフをサポートします。

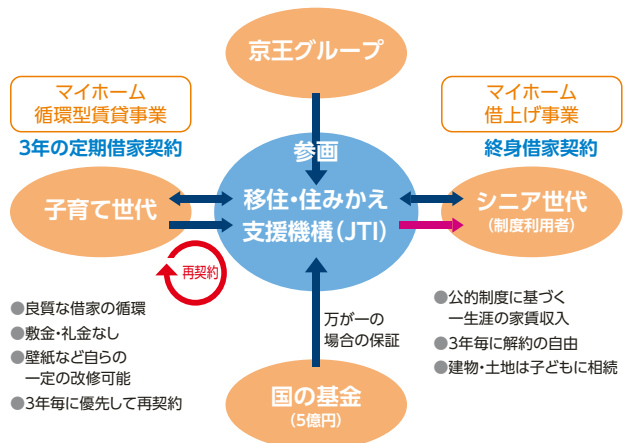


アリストージュ経堂

●移住・住みかえ支援機構

「(一社) 移住・住みかえ支援機構」(JTI)に協賛社員として参画しています。「JTI」に参画することで、シニア世代のライフスタイルにあった住まいへの住みかえを応援するとともに、シニア世代から借り上げた優良なマイホームを子育て世代に転貸し、沿線における子育てを応援します。

「移住・住みかえ支援機構」モデル図



地域社会への貢献

文化・地域振興

●京王音楽祭

1994年から開始した「京王音楽祭」は2012年で19回を数えました。毎回テーマに趣向を凝らし、多彩なアーティストを迎えて開催するチャリティコンサートです。2012年の入場料は、東日本大震災により被災した子どもたちのために、「東日本大震災みやぎこども育英募金」「いわての学び希望基金」「東日本大震災ふくしまこども寄附金」へ寄付しました。



京王音楽祭

●小山内裏公園ウォークラリー

京王電鉄と(公財)東京都公園協会共催で、「春はもうすぐ！自然の宝さがしウォークラリー」を2013年3月に都立小山内裏公園周辺にて開催しました。当日は90名が多摩丘陵に残る多様な自然に親しむ3コースのウォークラリーに参加。ゴールの小山内裏公園を目指しながら、途中に設置されたポイントで「指令書」に書いてある設問を解きながら、自然の新たな魅力を発見しました。



小山内裏公園ウォークラリー

●京王沿線ウォーキング

1997年に開始した「京王沿線ウォーキング」は、これまで延べ20万人以上の方にご参加いただいています。京王沿線の見どころや隠れた名所を中心に、どなたでも参加しやすい10km程度の散歩コースをご用意し、例年8回実施しています。



京王沿線ウォーキング

海外支援活動

●寄付を通じた国際協力

京王電鉄本社ビルでは、2010年から不用となった中古書籍、使用済切手を回収し、国際協力NGOシャプラニールを通じて、南アジアなどの支援活動に役立てています。

●バラのフェアトレード

京王グリーンサービス*では、フェアトレード認証を受けたバラを2008年9月から販売しています。フェアトレードは、安定した価格で継続的に取引することで生産者を支援する仕組みです。ケニア産の高品質なバラを仕入れた一定額がケニアの労働環境の改善などに役立てられています。

* 取扱い店舗：フラワーショップ京王 永福町店、つつじヶ丘店、府中店
桜ヶ丘東口店、京王多摩センターSC店、橋本店



バラのフェアトレード

行政・協力会社との連携

●コミュニティバス

東京都内では、地方自治体が中心となって、コミュニティバスを開設しています。京王電鉄バスグループと西東京バスは、利便性の高い街づくりに貢献するため、以下のバス路線を受託・運行しています。



みたかシティバス

地域路線バス(コミュニティバス)の運行受託状況

名称	行政	運行	開始年月
日野市ミニバス	日野市	京王電鉄バス	1986年8月
多摩市ミニバス	多摩市	京王バス南	1997年11月
調布市ミニバス	調布市	京王バス東	2000年3月
るのバス	あきる野市	西東京バス	2000年10月
すぎ丸	杉並区	京王バス東	2000年11月
CoCoバス	小金井市	京王バス中央	2003年3月
ぶんバス	国分寺市	京王バス中央	2003年3月
はちバス	八王子市	西東京バス	2003年3月
ちゅうバス	府中市	京王バス中央	2003年12月
ハチ公バス	渋谷区	京王バス東	2004年9月
はむらん	羽村市	西東京バス	2005年5月
新宿WEバス	新宿区	京王バス東	2009年9月
みたかシティバス	三鷹市	京王バス東	2012年3月

●PFI事業

PFIとは民間資金主導型の公共施設整備手法で、民間の資金とノウハウを活用して、効率的で効果的な公共サービスを提供する仕組みです。

2006年に杉並区のPFI事業として杉並公会堂がリニューアルオープンしました。屋上緑化や雨水利用トイレなど、環境に配慮した施設となっており、施設の維持管理や、コンサート・イベントなどの企画・運営を京王設備サービスが手がけています。



杉並公会堂

京王グループのPFI事業一覧

物件名	開始年月	主な業務内容
高尾の森わくわくビレッジ	2005年4月	施設維持管理・運営全般
杉並公会堂	2006年6月	施設維持管理・イベント等の企画運営
ルミエール府中	2007年12月	施設維持管理・窓口運営補助
東京地方・家庭裁判所立川支部	2009年3月	施設維持管理
稲城市立iプラザ	2009年10月	施設維持管理

●協力会社への教育

軌道・土木・建築、電気、車両などの保守管理や施設改良工事を委託する協力会社の社員に対し、定期的な教育を実施しています。工事の実施にあたっては作業前に毎回行う安全作業指示に加えて、当社の社員と合同で安全総合点検を実施しています。このほか、作業中に列車の接近を見張る列車監視員に対しても専門教育を実施しています。



協力会社への教育

株主・投資家の皆さまとの対話

●ディスクロージャー・ポリシーに基づいた

適時適切な情報開示

株主・投資家の皆さまへの情報開示を行うにあたっての基本的な考え方として、2006年4月に「ディスクロージャー・ポリシー」を制定し、本ポリシーに掲げる内容の実現を図るため、ディスクロージャー委員会を設置しました。ディスクロージャー委員会は、四半期ごとの業績開示にあわせて開催し、決算資料の内容確認を行うほか、年間を通じて適時適切な情報開示を行っています。

具体的には、四半期ごとの業績開示をはじめ、年2回の決算説明会の開催、インベスターズガイド「けいおう」などの発行を通じて、財務や株式、営業の概況に関する情報を積極的に開示しています。これらの開示資料やニュースリリースなどについては、ホームページ上でも公表するなど、個人投資家の皆さまにも分かりやすい情報開示に努めています。

京王グループ・ディスクロージャー・ポリシー

<http://www.keio.co.jp/company/stockholder/disclosure/>

●株主総会

2013年6月27日に京王プラザホテル八王子にて第92期定時株主総会を開催し、830人の株主さまにご出席いただきました。当日は、2012年度の事業の経過や業績について分かりやすくお伝えするよう努めました。



第92期定時株主総会

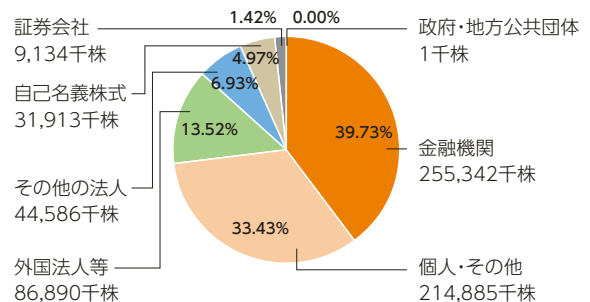
●株主の状況

当社の2013年3月31日現在の株主数は36,899名です。全体の約7割が、沿線の個人株主です。

株式の状況	発行可能株式総数	1,580,230,000株
	発行済株式総数	642,754,152株
	株主数	36,899名

株式分布状況

(2013年3月31日現在)



●施設見学会

株主の皆さまに当社および京王グループへの理解を深めていただくため、施設見学会を開催しています。2013年8月は当社鉄道教習所・京王資料館での訓練体験・見学、京王重機整備の北野事業所での整備見学、京王設備サービスが管理・運営を行う杉並公会堂において、ミニコンサートと施設見学を実施しました。



電車の整備を見学

●指定格付機関からの評価

当社では、鉄道事業における安全性の向上策や、沿線の活性化と競争力の強化に取り組みながらも、常に財務体質の健全性を意識しながら、30%を超える自己資本比率を維持しています。

このような着実な事業展開を行っていることが評価され、1998年に取得した(株)日本格付研究所(JCR)によるAA(ダブルAフラット)の格付けを継続して得ています。

人材の活用と働きやすい職場づくり

京王グループは、「信頼のトップブランド」を目指し、社員一人ひとりが、社会人として仕事を通じて社会に貢献できるよう、誰もが働きやすい職場づくりに取り組んでいます。



多様な人材雇用

●公正な採用方針

京王グループは、公正採用選考人権啓発推進員制度（厚生労働省）、採用選考に関する企業の倫理憲章（日本経団連）に基づき、秩序ある就職・採用活動を心がけています。

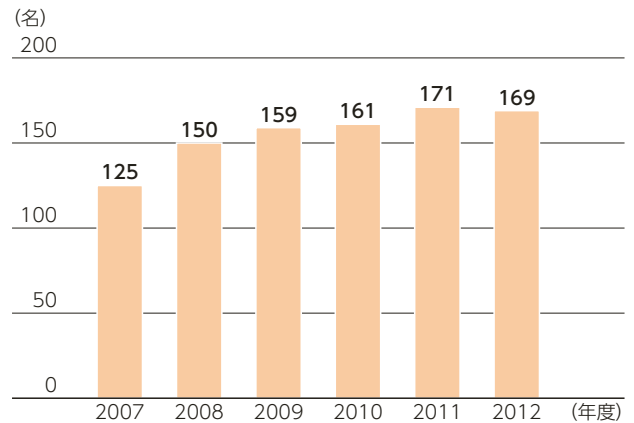
●女性の登用

1987年以降、京王グループは毎年4年制大学卒の女性を総合職として採用してきました。当社の2013年3月末における女性社員は169名、うち主任以下の総合職は40名、管理職は15名となっています。総合職からは、グループ会社の社長も誕生しています。



女性運転士

●女性定員数の推移



●従業員満足度の向上に向けて

京王電鉄では2011年、紙およびWEBを使用した無記名式アンケートによる「従業員意識・満足度調査」を実施しました。対象2,770名のうち94.5%から回答があり、満足度は概ね良好な結果が得られました。社員一人ひとりが主体的に働きやすい職場づくりをするために、調査結果を社内報で公表し、課題の共有化を図りました。

女性社長の声



生花事業の発展を牽引

京王グリーンサービス(株) 代表取締役社長 中瀬 真実

地元密着で幅広い事業を展開していることに魅力を感じて入社しました。現在の出向先であり、京王グループの生花事業を担う京王グリーンサービスには約90名の従業員が働いています。企業の代表者として会社全体の強みと課題を分析し、お客さまのニーズの変化に合わせて従業員が一丸となって同じベクトルになれるよう指揮を執っています。

人材の活用と働きやすい職場づくり

●障がい者雇用

2004年に特例子会社「京王シンシアスタッフ」を設立しました。2006年からは、関係会社特例認定を取得し、グループ会社の障がい者雇用も拡大しています。2013年8月現在、当社および関係会社特例認定を取得した京王グループ8社を含めた障がい者雇用率は2.37%となり、161名が社内施設の清掃業務などに従事しています。



清掃作業の様子

●高齢者再雇用

2001年度から老齢厚生年金支給開始年齢の65歳への段階的な引き上げが開始され、高齢者等の雇用の安定等に関する法律の改正に対応して、当社は定年退職した社員を再雇用する「継続雇用制度」を2006年に創設しました。2013年8月現在、再雇用社員は137名となっています。

●地域限定雇用

西東京バスでは、東京都檜原村と共同で、檜原村居住者(移住者)限定でバス運転士の採用活動を2012年8月から実施しました。檜原村は島しょ部を除いた東京都で唯一の村で、秋川渓谷などの豊かな自然に恵まれています。この檜原村で暮らしながら、通勤圏にある当社事業所(五日市営業所：東京都あきる野市)のバス運転士(正社員)を募集、地域と密着した、地域に貢献する雇用施策として推進しています。

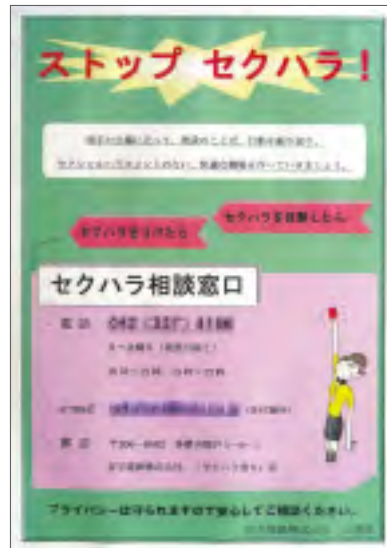
人権・労働安全衛生

●人権・労働に対する基本的な考え方

京王グループは、中核的労働基準(国際労働機関)を尊重し、京王グループ行動規範に基づき、誰もが働きやすい職場づくりを目指しています。

●ハラスメント防止

京王グループ各社では、セクハラ防止のために研修を実施し、相談窓口を設置しています。2009年からは、セクハラだけでなく、パワーハラスメントなどにも対応する相談窓口を設けています。



セクハラ防止ポスター

●労働安全衛生委員会

京王電鉄では、「安全・衛生のひろば」を定期的開催し、安全衛生活動の概況や安全衛生委員会の活動状況などについて議事録を作成し、周知しています。



安全・衛生のひろば

●衛生講演会を開催

京王電鉄では、定期的に衛生講演会を開催し、京王電鉄診療所の所長による健康に関する講演を行っています。

●メンタルヘルスケア

京王グループは、1998年から「ストレスチェック」「心の健康調査」「メンタルヘルスマネジメントセミナー」を実施し、組織の健康度把握、セルフケア、産業保健スタッフによる「心の病」のケアを導入しました。さらに、2007年には社外の臨床心理士による相談窓口を開設し、2008年からは保健師単独での職場訪問を開始しました。

ワーク・ライフ・バランス

●年休の取得率向上に向けて

働きやすい職場環境づくりのため、「ワーク・ライフ・バランス推進のためのセミナー実施」などに取り組んでいます。また「夏期有給休暇取得推奨」「年次有給休暇の半日単位付与」などにより休暇の取得を推進しており、2012年度の年次有給休暇の取得率は78.9%となっています。



両立支援セミナー

●育児支援

子どもを養育し、引き続き勤務する意思のある社員が育児に専念するために、子どもが満1歳に達して以降最初の4月15日まで休職できる制度を設けています。また、この制度を利用しない社員に対して、超過勤務を命じないことや、休職復帰後の社員に対する育児のための就業時間などに関する措置(子どもが3歳まで・小学校就学前まで・小学4年まで)についても定めています。



次世代認定マーク
「くるみん」

次世代育成支援対策についても今後推進を図り、仕事と家庭がより両立できる職場づくりに努めます。

京王グループ社員の育児を支援し、仕事と育児の両立を支援するため、2006年に事業所内保育所「サクラさーくる」を設置しました。京王グループ社員7名(2013年9月現在)が、この施設を利用しています。



事業所内保育所「サクラさーくる」

●社員の子どもによる職場見学会

社員の家族に職場への理解を深めてもらうため、夏休み期間中に「社員の子どもによる職場見学会」を開催しています。2013年度は60名の子どもとその保護者が参加し、鉄道の教習所や車両工場を見学しました。



職場見学会の様子

環境報告



特集

もっと環境にやさしい鉄道を目指して

京王電鉄では、太陽光発電設備など環境に配慮した設備を活用した、高幡不動駅の鉄道現業事務所を6月29日に開設しました。今回開設した事務所は、従来の施設と比べて大幅な省電力と節水を実現しました。

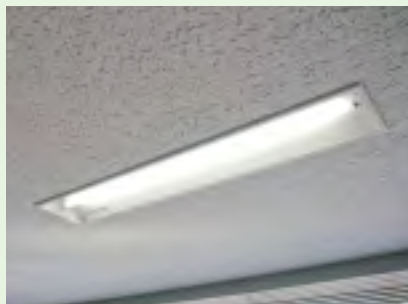
13種類の環境に配慮した設備で約30%の省電力と節水を実現

① ヒートポンプ式給湯設備



大気熱を取り込むことにより、熱エネルギーの供給を高効率化(電気エネルギーのみを使用した際の3倍以上)することで、CO₂排出量を重油ボイラー比65%削減します。

② 環境省エネ照明器具



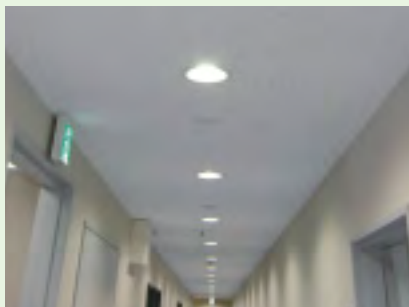
室内の明るさに応じて照明器具が自動的に点灯/消灯するなど、ランプ・点灯回路の技術改良による長寿命化と照度確保方法の効率化を図ることで、消費電力を約40%削減します。

③ 全熱交換換気設備



換気の際に捨てられてしまう室内の暖かさや涼しさを再利用しながらの換気により冷暖房負荷を低減することで、外気負荷を約70%、全負荷を約20%低減します。

4 LED照明器具



消費電力を白熱電球比約90%削減するとともに、低発熱により空調負荷を低減します。

5 省エネブラインド



羽根が自動的に角度を変え、太陽光を天井に反射させるなど効率良い自然採光により、消費電力を約33%削減します。

6 再生木ルーバー



夏季の日照抑制により冷房負荷を低減するルーバーは、リサイクル率90%の再生建材を使用しています。

7 高性能低放射ペアガラス



低放射性能と断熱性により冷暖房負荷を低減することで、冷暖房用電力を年間で約65%削減します。

8 緑化



夏季の日照抑制による冷房負荷の低減と周辺地域への環境配慮のため、建物壁面および周辺を緑化しています。

9 節水型トイレ



建物内すべてのトイレに洗浄水の使用量を抑えた便器を採用することで、水の使用量を約70%削減します。

10 断熱塗装



建物壁面に断熱性のある塗料を使用することで空調負荷を軽減します。

11 太陽熱温水器



屋上に設置した集熱パネルにより温水を供給します。

12 トップライト



天井からの自然採光により照明を減灯します。

13 太陽光発電システム

多結晶太陽電池モジュールにより太陽光エネルギーを電気エネルギーに変換(発電容量20kW)することで、CO₂排出量を約3.7t-CO₂/年削減します。変換された電気エネルギーは建物内で日中使用する電力の一部を賄います。



環境方針・環境管理体制

地球環境を守り、次世代に引き継いでいくため、「低炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」の構築に向け、環境マネジメントに取り組んでいます。



基本的な考え方

●企業の社会的責任の一環として、

グループ環境経営を推進

当社では、2000年11月に環境基本方針を制定し、環境法令遵守をはじめ、各事業の特性に応じた省エネルギー化や廃棄物削減、資源リサイクルなどを積極的に推進してきました。その後、環境保全は京王グループ共通の課題であるとの認識から、2004年12月に「京王グループ環境基本方針」を制定しました。グループ社員一人ひとりが環境方針の内容、なかでも自分の業務に関わりがある項目について十分理解し、仕事に活かしていけるよう、環境教育の実施や、環境マネジメントシステム (EMS) の継続的運用を通じて浸透を図っています。



京王グループ環境基本方針

私たちは、「環境にやさしく」というグループ理念に基づき、環境問題を地球規模で考え、持続的発展が可能な社会の実現を目指して、環境保全に配慮した事業活動を行います。

1. 地球温暖化防止のため、エネルギーの効率利用に努めます。
2. 循環型社会実現のため、廃棄物の削減、リサイクルおよび適正処理を図るとともに汚染の予防に努めます。
3. 環境に関する法令、条例、協定などを遵守します。
4. 地域社会との調和を目指し、騒音、振動の抑制ならびに緑化活動の推進に努めます。
5. より良い環境の実現に向けて、地域や社会の環境保全活動に積極的に参加します。
6. 従業員一人ひとりの環境意識向上を図るため、啓蒙・教育活動を実施します。
7. これらの環境保全活動を推進するため、鉄道をはじめとするすべてのグループ会社の事業活動において環境マネジメントシステムを構築し、継続的改善に取り組みます。

2004年12月9日制定

生物多様性行動指針

私たちは、生活に身近な事業を展開していくなかで、自然の恩恵を継続的に享受していることを認識し、持続可能な利用や自然と共生する社会の実現に向け、生物多様性に配慮した事業活動を行います。

1. **事業活動がおよぼす環境への影響把握**
事業活動と生物多様性とのかかわり(恵みと影響)を把握するように努め、取り組みの必要性に対する認識を高めます。
2. **自然環境の確保と保全**
事業活動における自然環境への影響の回避または低減に取り組むとともに、緑化を推進し、地域の豊かな自然環境の確保と保全に努めます。
3. **資源循環の推進**
資源の利用が生物多様性におよぼす影響を低減するために、グリーン購入など環境に配慮した調達や3R活動(リデュース・リユース・リサイクル)を推進し、環境負荷低減に努めます。
4. **ステークホルダーと連携した生物多様性の保全**
従業員をはじめ、取引先企業、お客さまなど多くのステークホルダーと連携し、情報の発信と収集を行いながら生物多様性の保全に努めます。

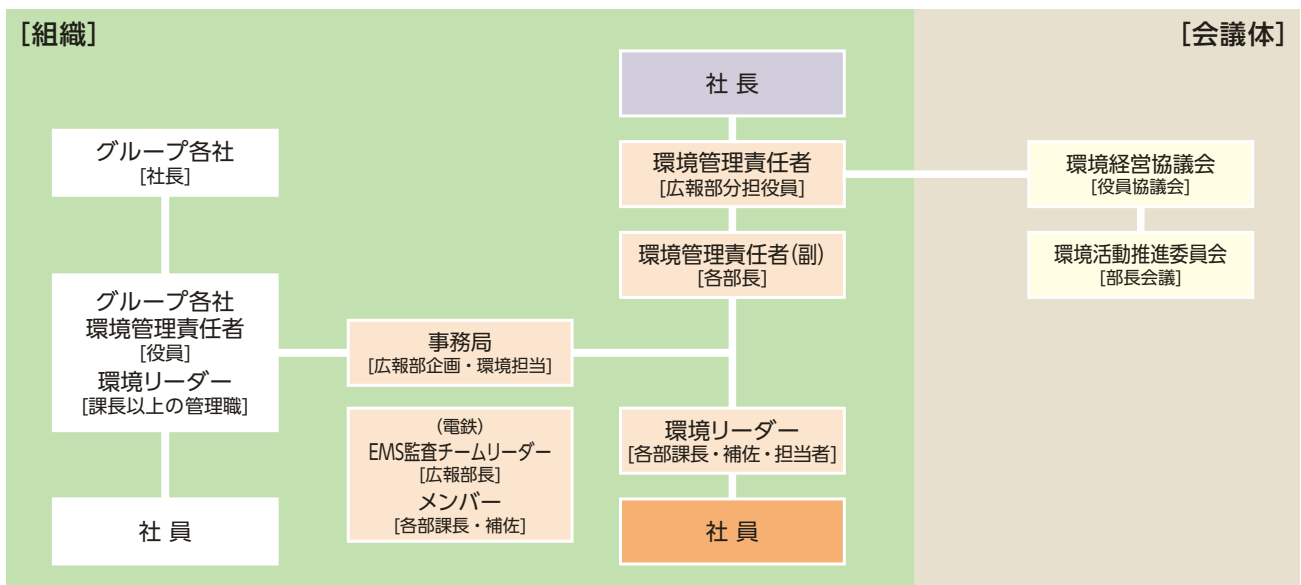
2010年9月8日制定

環境マネジメント推進体制

京王電鉄では、本社をはじめ鉄道現業を含めたすべての職場において、国際標準規格ISO14001に準じたEMSに取り組んでいます。9回目のPDCAサイクルとなる2013年度は、低炭素社会・循環型社会・自然共生社会の実現に向けたレベルアップに努めています。

グループ会社では、ISO14001を4社、グリーン経営を6社で認証取得しています。その他の各社は、ISO14001またはエコアクション21に準じてEMSに取り組んでいます。特殊車両の設計製作を行う東京特殊車体は、2013年3月に京王グループ初となるエコアクション21認証を取得しました。

●京王グループEMS推進体制



京王グループ各社のEMS構築状況

分類	会社名
ISO14001	<p>認証取得(4社)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●京王設備サービス ●京王建設 ●京王地下駐車場 ●京王エージェンシー <p>準拠した活動(8社)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●京王電鉄 ●京王百貨店 ●京王ITソリューションズ ●京王アカウンティング ●京王ビジネスサポート ●京王ユース・プラザ ●京王子育てサポート ●京王ウェルシステージ
グリーン経営認証	<p>認証取得(6社)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●京王電鉄バス ●京王バス東 ●京王バス中央 ●京王バス南 ●京王バス小金井 ●京王運輸
エコアクション21	<p>認証取得(1社)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●東京特殊車体* <p>準拠した活動(25社)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●西東京バス ●京王自動車 ●京王ストア ●京王書籍販売 ●京王リテールサービス ●京王パスポートクラブ ●京王アートマン ●京王食品 ●京王グリーンサービス ●京王不動産 ●リビタ ●京王プラザホテル ●京王プラザホテル札幌 ●京王プレッソイン ●京王観光 ●京王レクリエーション ●レストラン京王 ●京王重機整備 ●京王シンシアスタッフ ●エリート ●京王友の会 ●京王コスチューム ●京王商事 ●新東京エリート ●御岳登山鉄道

※2013年3月取得

低炭素社会を目指して

鉄道・バスなどでのよりエネルギー効率の良い設備の導入やエコドライブの推進を行っています。また、商業施設・オフィス・住宅での省エネルギー化、太陽光発電などの再生可能エネルギーの活用により、CO₂排出量削減に取り組んでいます。



鉄道

●中期環境目標：

電車の運転用電力を1960年代比で45%削減

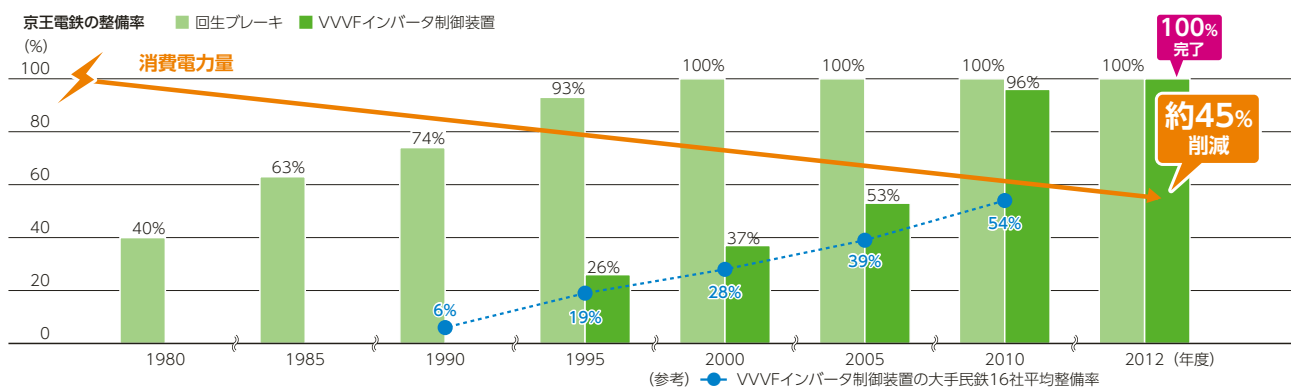
鉄道で消費する電力は、電車の運転に使用する電力と、駅施設（照明、昇降機、空調設備など）や保安設備（踏切、信号機など）などに使用する付帯電力に大別できます。

当社では、このうち電車の運転に使用する電力について、最も有効な施策である車両のVVVFインバータ制御

化を積極的に進めており、省エネルギー化を推進することで、回生ブレーキと合わせて2014年度における運転原単位（1車両1km走行あたりの消費電力量）を1960年代比で45%削減することを目指します。

●回生ブレーキ・VVVFインバータ制御装置の整備率の推移

「回生ブレーキ」と「VVVFインバータ制御装置」の導入により、消費電力はこれらが導入される前の車両と比較して約45%の削減となりました。



●VVVFインバータ制御装置

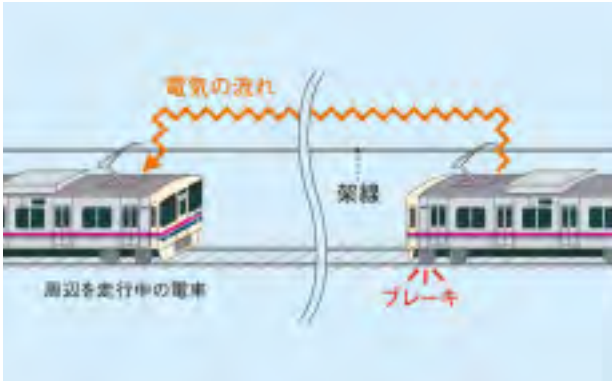
VVVFインバータ制御装置とは、電車の加速力や速度などに応じて電圧や周波数を変化させながらモーターを効率よく動かす装置です。当社では1992年に初のVVVF車両として京王線8000系車両を導入して以降、順次、井の頭線1000系や京王線9000系車両の導入を進めてきました。また、既存の京王線7000系車両についてもVVVFインバータ制御車両への改造を進め、2012年に京王線・井の頭線全車両のVVVFインバータ制御化を完了しています。現在は、新型VVVFインバータの試験を行っています。



9000系

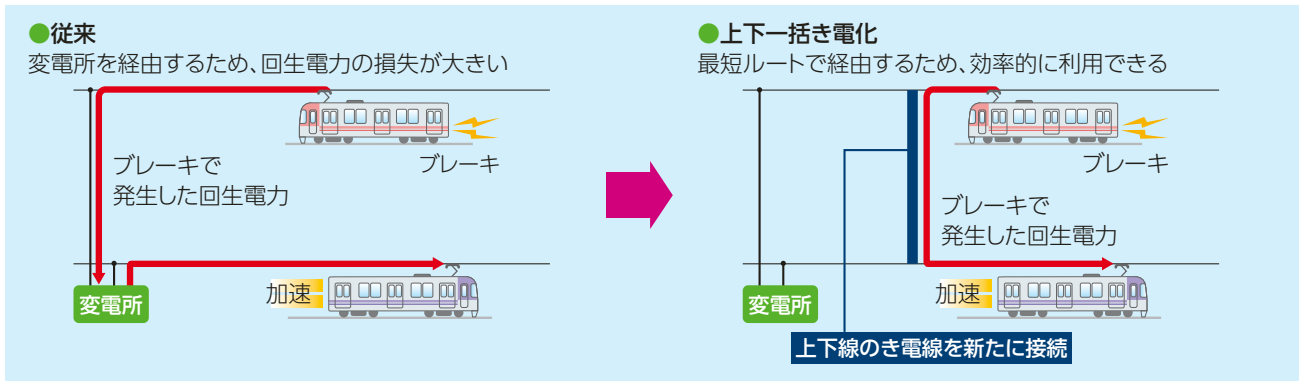
●回生ブレーキ

回生ブレーキとは、電車がブレーキをかけた際にモーターを発電機として作動させ、発生した電力を架線に戻すことで他の電車が使えるようにする装置です。当社では1999年に京王線・井の頭線全車両への装備を完了しています。



●上下線一括き電化

上り線と下り線のき電線(電車に電気を供給する線)を接続することで、回生ブレーキで発生した電気を他の電車に最短ルートで送り、電気を送る際の損失低減を図ることができる装置です。2012年に井の頭線で整備しました。



●駅などのLED照明

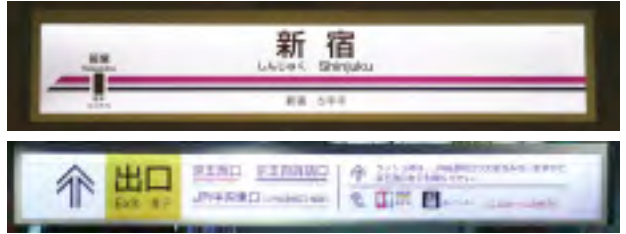
従来の照明設備に比べて大幅に消費電力を削減できるLED照明を駅構内に導入しています。また、調布駅付近連続立体交差事業による地下化にあわせて、トンネル内の照明設備にもLEDを用いています。



駅構内のLED照明

●省電力型案内看板

高効率で消費電力を大幅に抑えた蛍光灯やLEDと導光板を用いた内照式の案内看板を順次導入しています。



省電力型案内看板

●駅設備の電源・運転自動制御

照度センサーやタイマーによる照明の自動制御や、お客さまが近づくと人感センサーにより電源が入る自動券売機、自動運転するエスカレーターなどの設置を進めています。

●車両のLED照明

2012年に、京王線8000系車両および井の頭線1000系車両の各1編成の客室内照明を蛍光灯からLEDに切り替えました。これにより、消費電力が従来に比べ約35%削減されるほか、長寿命のため交換サイクルが長くなることから廃棄物の削減にもつながります。



電車内のLED照明

低炭素社会を目指して

●自然採光

ホームやコンコースの屋根に自然採光の工夫を行うことで、照明の消灯に努めています。



自然採光の屋根

バス・タクシー

●電気(EV)・ハイブリッド(HV)バス

西東京バスでは、羽村市から運行を受託しているコミュニティバス「はむらん」において、定期路線バスでは日本初となる小型EVバスによる運行を2012年3月から開始しています。

2013年3月には、最も負荷のかかる発進時はモーター動力のみで駆動して燃費を抑え、減速時は高性能リチウムイオンバッテリーがエネルギーを効率よく回収するシステムを採用したHVバスを導入し、五日市エリアおよび八王子市内を運行しています。



でんきバス「はむらん」



HVバス

●ハイブリッド(HV)タクシー・アイドリングストップ車

京王自動車では、タクシーにHV車やアイドリングストップ車を導入し、エネルギーの効率利用に取り組んでいます。



HVタクシー

●エコドライブ

京王グループの運輸業(バス・タクシー・トラック)各社では、エコドライブを積極的に推進しています。

●京王電鉄バスグループ

デジタルタコグラフ*を全車両に導入したほか、社員教育の一環として乗務員のエコドライブ教育を行っています。

* デジタルタコグラフ：速度とエンジン回転数を数値化して記録する装置です。

●西東京バス

デジタルタコグラフを路線バス全車両に導入しており、データに基づく乗務員への個別指導を実施しています。

●京王自動車

タクシー全車両にエコドライブ管理システムを導入し、急発進・急加速・急停車の有無やアイドリング時間を数値化して、乗務員の指導に活かしています。

●京王運輸

「エコドライブ講習会」「省燃費運動」などを通じて、燃費向上に向けた運転者の意識啓発に取り組んでいます。また、(一社)東京都トラック協会主催「グリーン・エコプロジェクト」や



(公財)交通エコロジー・モビリティ財団認定の講習会などの外部セミナーにも積極的に参加しています。

走行管理表に記入

商業施設・オフィス・住宅

●中期環境目標：

東京都の基準を超える12%のCO₂排出量削減

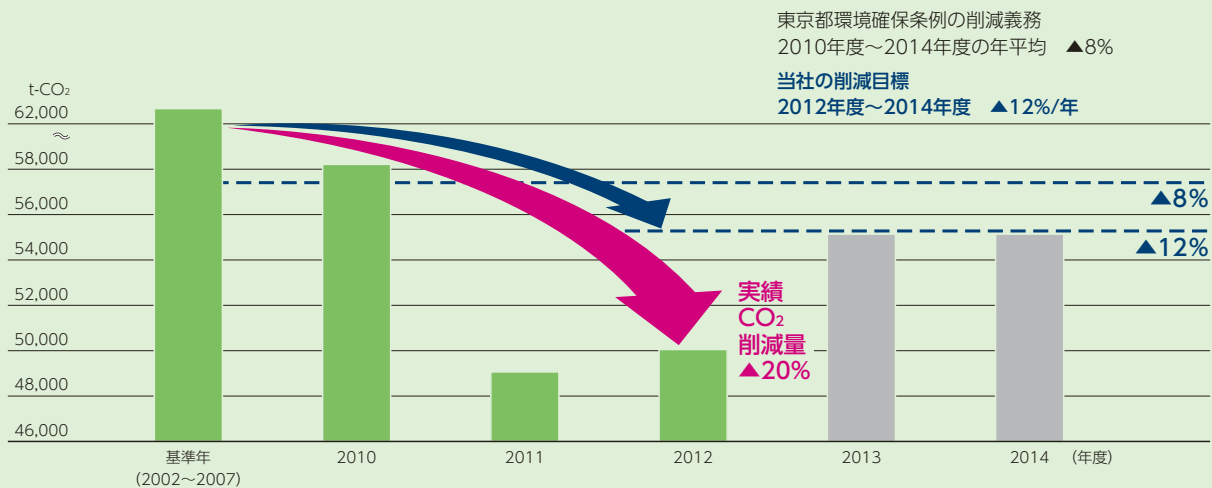
東京都環境確保条例の対象となる大規模8物件^{※1}では、基準値^{※2}に対し2010年度～2014年度に年平均8%のCO₂削減義務が課せられています。

当社では、空調設備・ボイラーの高効率化、照明のLED化等の省エネルギー施策の推進や節電運用を図り、2012年度(単年度)の目標として、基準値に対し12%の

削減を掲げていましたが、目標を上回る20%の削減を達成しました。

2010～2012年度の3カ年においても、東京都のCO₂削減義務を上回る年平均16%の削減を達成しました。来年度以降もこの結果を継続できるように努め、東京都の削減義務を達成できるよう目指します。

●大規模ビル8物件のCO₂排出量削減実績と目標



※1 京王プラザホテル新宿、京王プラザホテル八王子、京王プラザホテル多摩、京王品川ビル、京王八王子明神町ビル、京王百貨店新宿ビル、京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター、京王八王子ショッピングセンター

※2 「基準値」とは、2002年度～2007年度のうち任意の連続した3カ年におけるCO₂排出量の平均値をいいます。

●LED照明導入

京王電鉄およびグループ各社では、ショッピングセンター・オフィス・ホテルなどの施設において、LED照明を積極的に導入しています。



ベーカリー&カフェ ルパにおけるLED照明の導入

2012年度の主な導入事例

会社・店舗	導入場所
京王電鉄	本社ビル1階応接スペース全照明
	京王新宿三丁目ビル全館照明
	京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンターB館照明
	京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター非常口誘導灯
	京王八王子ショッピングセンター非常口誘導灯
京王電鉄バスグループ	営業所の一部
京王リテールサービス	駅売店の店内・看板
京王食品(ルパ全23店舗)	スポットライト・ダウンライト
リビタ	オフィス照明の一部
京王プラザホテル(八王子)	高所ダウンライト
京王レッスンイン(3店舗)	客室階共用部ダウンライトの一部

低炭素社会を目指して

●京王プラザホテル(新宿)

東京都環境確保条例の対象となる大規模ビル8物件では、CO₂の排出量削減に向けて計画的な設備の改修工事を進めており、2012年度は京王プラザホテル新宿(本館・南館)において蒸気配管の断熱強化を施工しました。



施工前



施工後

●京王プラザホテル(新宿)の屋上緑化

環境に配慮し、2008年に本館7階の約1,000m²を屋上緑化しました。ホテル施設ならびに周辺高層ビルからの景観向上およびヒートアイランド抑制効果を図ります。



屋上緑化

●IKENOUE04

京王電鉄が建設を進めていた賃貸住宅「IKENOUE04」が、2013年7月に竣工しました。渋谷、新宿までのアクセスの良さと下北沢駅徒歩圏内という立地を生かし、ファッション、デザインなどのクリエイターが集うSOHOスタイルの集合住宅がコンセプトです。

池ノ上駅改札階から直結の住宅(一部住宅を除く)で、また、当社が実施している「Green Happiness 井の頭線」*の一環として駅のホームから見える建物壁面を緑化しています。

*「Green Happiness 井の頭線」とは、「住む人と地球に優しい井の頭線」をコンセプトとした、環境や暮らしやすく活気ある街づくりへの取り組みのスローガンです。



外観イメージ



駅改札階から直結



廃材のレールを利用し、鉄道や駅とのつながりを演出

●Hi-ROOMS新代田の省エネ設備

京王の空間志向賃貸住宅「Hi-ROOMS」シリーズ8棟目となる「Hi-ROOMS新代田」を2013年2月に竣工しました。本物件は、1LDK全16戸で、京王電鉄として初めて導入したHEMS*や全照明のLED化など環境に配慮した賃貸住宅となっています。

* HEMS (Home Energy Management System) : WEB上で電気・ガスの使用量を見られるエネルギー管理システムです。



Hi-ROOMS新代田

再生可能エネルギーの活用

京王グループでは、再生可能エネルギーの活用に積極的に取り組んでいます。

発電種類	場所
太陽光発電	明大前駅
	高幡不動産車両基地
	若葉台駅
	京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター
	芦花公園駅
	永福町駅
	高幡不動乗務区・施設管理所
	京王電鉄バス桜ヶ丘営業所
風力発電	高尾の森わくわくビレッジ
	発電床®
	京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター



永福町駅の透過式太陽光発電パネル



高幡不動産車両基地の太陽光発電パネル



京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンターA館の太陽光発電パネル



京王電鉄バス桜ヶ丘営業所屋上の太陽光発電パネル



高尾の森わくわくビレッジの風力発電

●環境に配慮したエネルギーの活用

当社賃貸物件の一部、車両工場、本社ビルでは、新電力(特定規模電気事業者)から2013年4月以降、クリーンで安定した電気を購入しています。

循環型社会を目指して

京王グループは、「リデュース」「リユース」「リサイクル」の3Rの観点から、資源の有効活用に取り組んでいます。



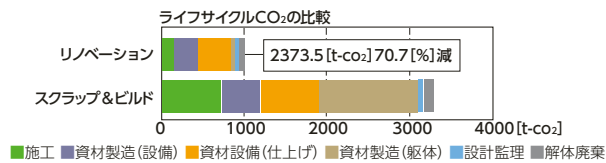
資源の有効活用

●環境負荷を低減した「リノベーション事業」を展開

既存の建築物をリニューアル・再生し、魅力ある住宅を供給するリノベーション事業は、限られた資源を有効に使いCO₂排出量を削減する、地球環境にやさしい手法です。リビタが手がけた「リノア多摩川CORTE」では、省エネルギー改修を行うことで、ライフサイクルCO₂を70%削減、廃材発生量を91%削減することができました。



内装をすべて取り払った状態



- ※ ライフサイクルCO₂とは、建物の建設から運用、解体までのライフサイクルを通じて排出される二酸化炭素(CO₂)の量を指します。
- ※ ライフサイクル廃材発生量とは、建物を解体した場合に発生する材料を指します。建物が与える地球温暖化への影響を評価する指標です。

●エコバッグ

京王百貨店では、エコバッグを販売してお客さまにマイバッグご持参の呼びかけを行っています。なお、収益は(公社)日本山岳会「高尾の森づくりの会」に寄付しています。



京王オリジナルマイバッグ

●ECOステイ

京王プレッソインでは、「ECOステイ」プランを提供しています。ECOステイは連泊をされるお客さまを対象に、クリーニングの回数を減らして水資源保護・CO₂排出削減を図

る他、ECOカードをご提示いただいたお客さまにはタオルなどの交換を行わない代わりにミネラルウォーターなどをプレゼントしています。



京王プレッソイン



●駅ベンチの再利用



「リノア相模原」では、サブエントランス内にある井戸端ガーデンのベンチに、京王線のホームで実際に使用されていたベンチを設置しています。

リユースされた駅ベンチ

●洗浄水の再利用

若葉台工場では、車両や部品の洗浄などに用いる水の使用量を削減するため、「処理水再利用装置」を導入しています。



この装置で、使用済みの水の汚れを取り除き、洗浄水などに再利用しています。現在、洗浄に用いる水の約40%はこの装置により処理されたものです。

車両洗浄水の節水

●鉄道(車両・PCまくら木の他社譲渡)

京王線・井の頭線を走っていた電車が、色やデザインを変えて現在でも日本全国の9つの鉄道で活躍しています。

また、井の頭線を中心に進めている省力化軌道工事※にともなうまくら木の交換により、不要となったPC(コンク

リート)まくら木も当社車庫線や他の鉄道会社で再利用されています。

※まくら木周辺の碎石をアスファルトセメントで固定することで軌道のくずれを防止し、保守の省力化を図るための工事です。



富士急行(山梨県)



上毛電気鉄道(群馬県)



一畑電車(島根県)



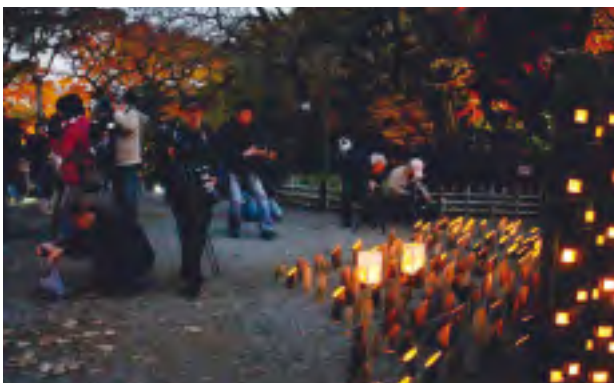
アルピコ交通(長野県)

●京王百草園の竹灯籠

京王百草園では、園内にある竹林から孟宗竹(モウソウチク)を間引きし、その竹を加工した竹灯籠を紅葉が美しい時期に点灯するイベントを開催しています。



竹灯籠

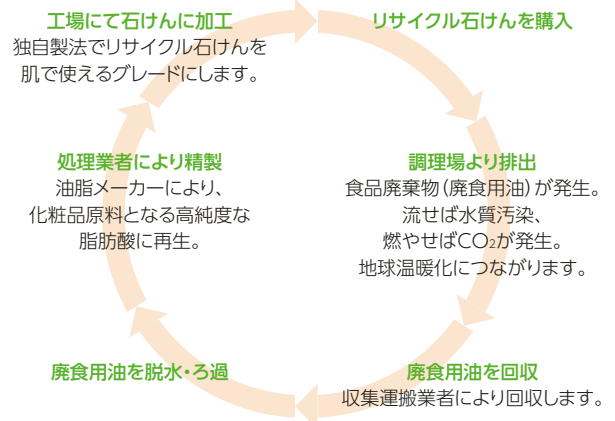


●廃食用油のリサイクル(京王グループ6社)

京王グループ6社※は、レストランなどから排出した廃食用油を、石けんにリサイクルしています。2012年度は53事業場から211tの廃食用油を回収、有効利用しました。

※京王百貨店、京王電鉄、京王プラザホテル、レストラン京王、京王レクリエーション、京王リテールサービス

廃食用油リサイクルシステム



自然共生社会を目指して

お客さまとともに自然と共生する社会づくりを進めるため、高尾山エリアを中心に、生物多様性に富んだ森づくりの支援や環境保全活動を行っています。



生物多様性の取り組み

●100周年記念植樹

京王の電車・バス開業100周年にあたり、2013年4月に四季を通じて多くのハイカーが訪れる高尾山(一丁平園地)周辺において、豊かな自然環境を次世代につなげ、訪れる方々が楽しめるスポットを創出するため、ヤマザクラやカエデの

苗木100本を植樹しました。

沿線のお客さまや各方面の関係者総勢128名にご参加いただきました。今後は植樹した苗木が健やかに育つよう、下草刈りなどの維持管理作業を定期的実施します。



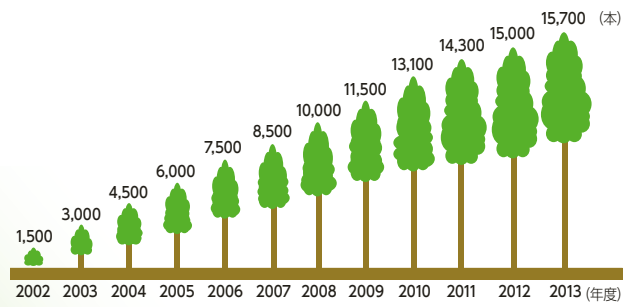
地鎮祭の様子



植樹の様子

●継続的に植樹活動を実施

京王グループは、2002年から12年間にわたって、(公社)日本山岳会「高尾の森づくりの会」が、裏高尾(小下沢国有林)で行う森林再生活動を支援しています。2013年の「第13回植樹祭」では、広葉樹の苗木700本を提供しました。



12年間で
15,700本の苗木を提供



- … 森林再生活動エリア
- … 100周年記念植樹エリア
- … 両エリアを結ぶ稜線

●種子から育てる苗木プロジェクト

(公社)日本山岳会「高尾の森づくりの会」と京王グループが植樹する苗木を地元の小・中学校とともに育てる「種子から育てる苗木プロジェクト」を2013年から開始しました。

3月には八王子市立城山小学校を訪問し、児童との種植えをはじめ京王電鉄社員による授業、里山に暮らす生き物の痕跡展示、森林作業の道具説明などを行いました。



種植え



授業風景

●高尾の森 親子森林体験スクール

森林再生活動を支援している裏高尾の小下沢国有林において、春と秋に「高尾の森 親子森林体験スクール」を開催しています。このスクールは小学4年生～中学3年生のおさまと保護者の方40名を募集し、植樹や下草刈り作業の体験、植物や水生生物の観察など自然との触れ合いを通じて森の大切さを学びます。



高尾の森
親子森林体験
スクール

自然共生社会を目指して

●京王グリーンキャンペーン(高尾山・多摩川)

1991年から沿線地域の環境保全を目的に、高尾山と多摩川の清掃活動を行っています。この取り組みは、京王グループ社員をはじめ、地域の皆さまにも参加いただけるよう、駅のポスター、京王ホームページ、京王ニュースで呼びかけています。

2013年5月には、京王線聖蹟桜ヶ丘駅付近の多摩川で実施し、一般のお客さまと京王グループ社員あわせて737人が参加し、清掃活動として総計約180kgのゴミの収集をしました。また、今回初の試みとして稚鮎の放流体験を実施、中学生以下の方100人が参加し稚鮎約1,000匹を放流しました。



京王グリーンキャンペーン(高尾山)



京王グリーンキャンペーン(多摩川)



稚鮎の放流体験の様子

●レンゲショウマ保全

御岳登山鉄道は、御岳山に群生し絶滅危惧種に指定されている山野草「レンゲショウマ」の保全活動として、みたけ山観光協会などと協力し、群生地での下草刈りやハイキングコースの整備を行っています。また、夏の開花時期に合わせて「レンゲショウマまつり」やガイドと共に歩くハイキングイベントを毎年開催しています。



レンゲショウマ

レンゲショウマハイキング

協力者の声

多摩川の清流を次世代に伝えたい

川崎河川漁業協同組合総代 山崎 充哲様

子どもたちが多摩川の生物多様性に直接関わる取り組みをしたいとお話をいただいた時は嬉しく感じました。稚鮎は多摩川産を選び、いくつもの堰が鮎遡上のハードルになっていることなど、将来を見据えて熱心に企画される姿が印象的でした。

多摩川はこの1~2年で鮎遡上数が急増するなど河川環境が改善されています。一方で水温が上昇し、捨てられた外来魚が棲みやすくなるなど生態系の異変も生じています。清流の象徴である鮎が浅川を遡上し、高尾で見られるようになれば素敵ですね。



※ 同氏の著書「タマゾン川」(旬報社)は、第60回産経児童出版文化賞大賞を受賞しました。

●ムササビやスマレの観察会

2013年8月に、高尾山のムササビを30年以上にわたり研究されている岡崎弘幸先生を講師に「高尾山を学ぶ会『夜空を飛ぶムササビに会おう』」を開催しました。また、2013年4月には「高尾山を学ぶ会『タカオスマレに会おう』」を開催しました。



ムササビの観察



タカオスマレの観察

●棚田保全

京王観光では、2000年から長野県内の棚田で、田植え、あぜ草刈り、稲刈り・はぜかけ、脱穀・精米といった農作業体験を行っています。この活動は、「生態系の維持」、「日本古来の農耕文化の継承」など棚田の役割を理解し、実際に作業に携わることで、日本の原風景である棚田の保全に協力しています。これまでに社員や家族・友人など、延べ460名が参加しました。



田植えの様子

●沿線の緑化

1991年から、降雨による法面の崩壊を防ぐとともに、お客さまに沿線風景を楽しんでいただくために、草刈りは除草剤を使わず人の手で行い、アジサイ・ツツジ・サザンカなどを植栽しています。2001年には「第7回杉並『まち』デザイン賞」を受賞しました。



線路わきの緑化

●屋上庭園「ふくにわ」

2011年3月にオープンした「京王リトナード永福町」には、地域の方の憩いの場として屋上庭園「ふくにわ」を併設しています。桜・キンカン・ユズなど季節の木々や草花が香る



この庭園は、環境省が主催する「2010年度『みどり香るまちづくり』企画コンテスト」に入賞しました。

屋上庭園「ふくにわ」

TOPICS

京王栽培研究所

京王電鉄は、狭間駅前に「京王栽培研究所」を建設し、2013年4月に稼働しました。本研究所は、LED・蛍光灯を利用した人工光型植物工場と太陽光型植物工場からなり、高付加価値の野菜や果物の栽培の研究・開発を行い、2年後の事業化を目指します。



リーフレタスの栽培風景



京王栽培研究所

自然共生社会を目指して

●自然!はっけん!エコキャンプ

2006年から体験学習施設「高尾の森わくわくビレッジ」において、夏休みに小学生を対象とした1泊2日のキャンプを実施しています。キャンプには社員がボランティアで参加し、

グループリーダーとして子どもたちの生活をサポートしています。2013年8月の開催では、自然観察、野外炊さん、ドラム缶風呂体験による水遊びなど自然環境を活かしたプログラムを行いました。



エコキャンプの様子

●ビオトープの整備

高尾の森わくわくビレッジでは、敷地内の生物多様性の質をより高め、自然学習の場として整備していくために、2005年の開業時にビオトープとして整備した池の改善に着手しました。繁茂している要注意外来生物のオオカナダモ

を除去し、地域の水辺に本来生えている水生生物を導入することで、自然植生への転換を図っていきます。今後は、池周辺で見られる動植物の生息環境を確保しながら、これを素材とした環境教育プログラムを来館者に提供していきます。



オオカナダモ



改修前

- 悪条件に強いため他の水生植物の生育を阻害してしまう外来種のオオカナダモが大繁殖していた。
- 水辺を丸太で護岸していたため、水生植物が生えにくく、生き物の隠れ家や産卵場所となる箇所が少なかった。

改修後

- 池の外周には、周辺の川や水田から採取した地域在来の植物を導入し、植生に見合った環境を再現した。
- 多摩川流域の川砂で湿地帯を設けるなど水深や水流に変化をつけ、多様な生物が棲みやすい環境とした。

より良い環境マネジメントを目指して

環境マネジメントのレベルアップに向けて、社員・お客さま・地域社会との相互理解や環境リスクの低減に努めています。

監査・教育

●EMS内部監査

当社はEMSの有効性と社員の自覚を確認するため、毎年各部2名のEMS監査員を選出し、新任監査員は有限責任監査法人トーマツによる専門教育を受けた後、部署間相互による内部監査を実施しています。2012年度の監査結果は不適合に関する指摘事項はありませんでした。

●環境教育

環境意識やEMS理解度の向上など必要性を明確にしたうえで、体験を重視した環境教育を実施しています。

●主な教育実績(2012年度)

名称	時期	対象	人数
京王クリーンキャンペーン	5月、11月	グループ社員、一般	1,545名
環境を学ぶエコキャンプ	8月	グループ社員、一般	72名
EMS監査員養成研修	10月	新任監査員	6名
廃棄物管理勉強会	11月	グループ実務担当者	119名
廃棄物処理施設視察会	3月	グループ実務担当者	27名

環境コミュニケーション

●京王PRボード

京王グループの社会・環境活動を紹介するポスターを制作し、お客さまとのコミュニケーションを図っています。「屋上緑化」、「京王クリーンキャンペーン」などの活動を取り上げ、お客さまからのご意見をいただけるように駅の「京王PRボード」に掲示しています。



屋上緑化

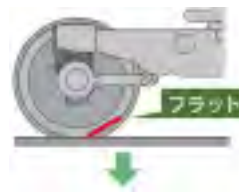


京王クリーンキャンペーン

周辺環境への配慮

●電車の走行音の低減

車輪の振動を自動的に検出するセンサーを京王線・井の頭線に各1カ所設置し、車輪のフラットによる騒音・振動を早期に発見・改善しています。



雨天時などのブレーキ中に車軸がロックしてレール上を滑ると平らな部分(フラット)ができ、騒音・振動のもとになります。



フラットによって生じる車輪の振動を自動的にセンサーで検知し、すぐに車両基地へデータが転送されます。



車輪の削正

車両基地で車輪の削正や交換を行いフラットをなくし、騒音・振動・乗り心地を改善します。

●鉄桁防音対策

桁が鉄製の橋梁においては、下面および側面に防音材を、また、レールとまくら木の間に防振タイプレートを設置し、騒音・振動の低減に努めています。

●ロングレール化

1本が200m以上の長いレールを使用し、レールの継目箇所を少なくすることで、列車の騒音や振動が減り、乗り心地も向上します。これまでに、曲線半径400m以上の敷設可能区間は、長大橋梁を含めロングレール化を完了しています。

●清掃用シンナーの回収

若葉台工場では、台車や車体を清掃するロボットの清掃時に排出されるペンキが混ざったシンナーから、シンナーを分離・回収する「溶剤再生装置」を導入しています。

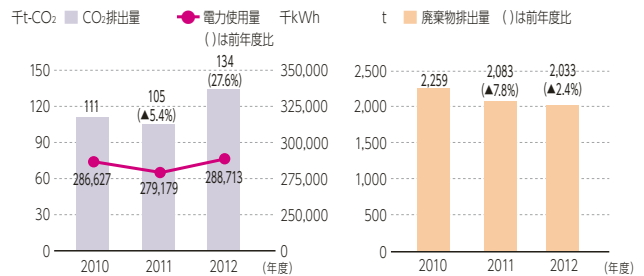
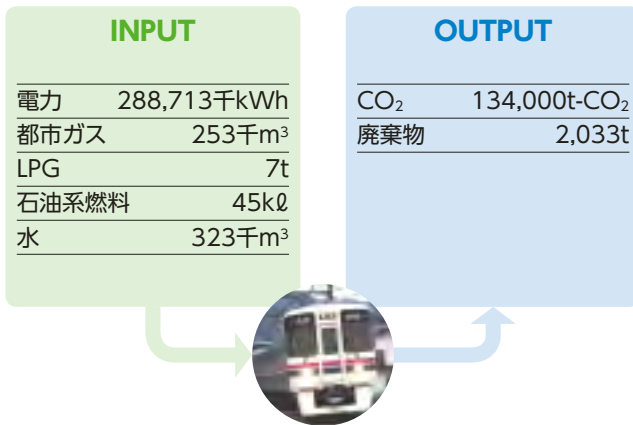
より良い環境マネジメントを目指して

環境負荷の把握

当社には「鉄道事業部門」と、土地・建物の賃貸・販売を行う「開発事業部門」、会社全般の管理業務を行う「一般管理部門」があります。それぞれの特性に応じて使用する資源と排出するCO₂・廃棄物を「インプット」「アウトプット」として定量的に把握し、企業活動に役立てています。

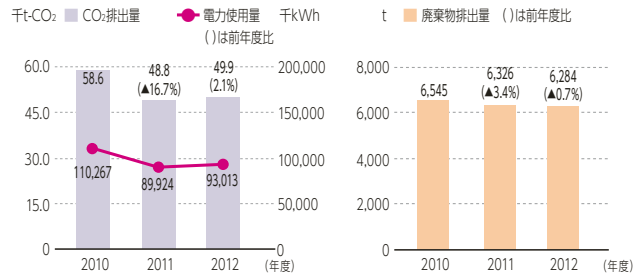
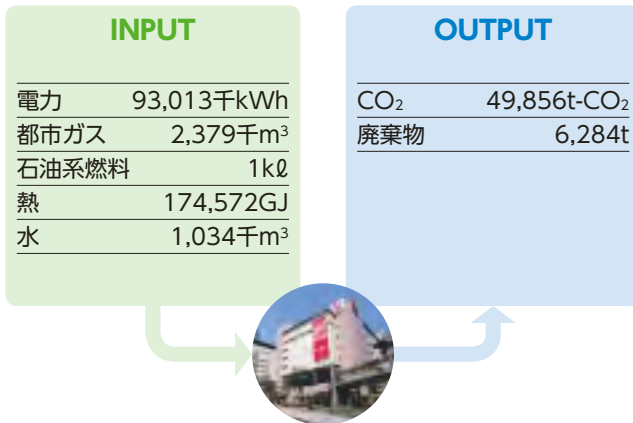
●2012年度の環境負荷のレビュー

鉄道事業部門



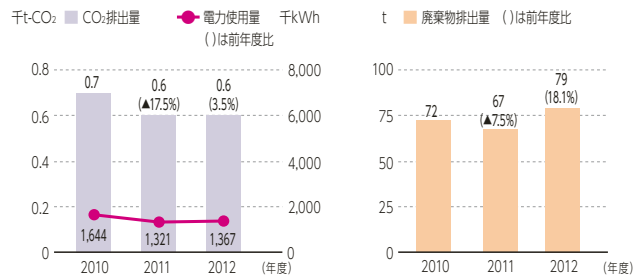
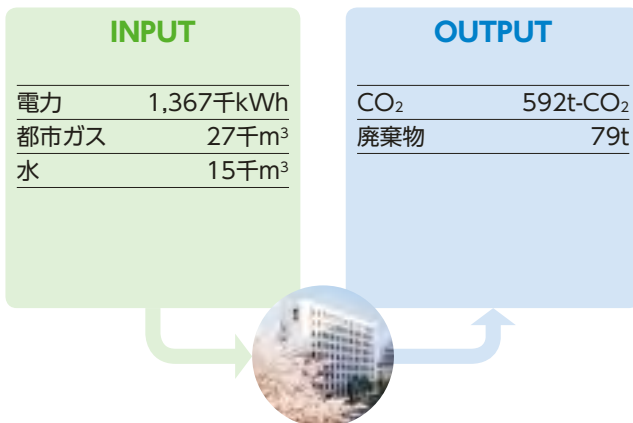
集計対象は、列車の運行、駅および現業事業所です。
調布駅付近連続立体交差事業の進捗により、国領駅、布田駅、調布駅を含む約3.7kmの区間が地下線化したため、CO₂排出量は前年度に比べ27.6%増加しました。

開発事業部門



集計対象は、東京都環境確保条例に基づく大規模8事業所です。
京王プラザホテル新宿の蒸気配管断熱強化など省エネルギー工事を進めましたが、CO₂排出量は震災の影響があった前年度に比べ2.1%増加しました。

一般管理部門



集計対象は、本社、福利厚生施設です。
空調の運転方法を工夫するなど徹底した節電・省エネルギー対策を行いましたが、CO₂排出量は震災の影響があった前年度に比べ3.5%増加しました。

環境会計

環境保全に向けて、2012年度は約67億円の環境投資・費用を行使しました。

当社は、環境負荷の低減に向けて鉄道車両や駅・オフィスビルなどの省エネルギー化、廃棄物の分別、リサイクルなどのレベルアップに向けて環境投資を継続しています。

2012年度は、調布駅付近連続立体交差事業の進捗にともない、公害防止コストが減少するなど、環境投資・費用は全体で14.9%の減少となりました。

●2012年度の環境保全コスト(投資・費用額)

(単位：百万円)

内容	主な取り組み	具体的内容	投資	費用
(1)事業エリア内コスト			4,555	2,093
①公害防止コスト	●騒音振動防止 ●大気汚染防止 ●水質汚濁防止	◎連続立体交差化 ◎ロングレール化軌道 ◎草刈 ◎低VOC塗料 ◎PCB保管庫新設	2,901	979
②地球環境保全コスト	●省エネルギー化 ●モーダルシフト ●オゾン層破壊防止	◎空調機更新 ◎VVVF化 ◎蒸気配管断熱強化 ◎ホームドア設置 ◎幅広改札機 ◎ノンフロン空調機更新	1,387	108
③資源循環コスト	●廃棄物処理・処分 ●廃棄物減量 ●廃棄物リサイクル	◎駅清掃費 ◎車両清掃費 ◎PASMO関連費用 ◎廃切符リサイクル	267	1,006
(2)管理活動コスト	●景観保持 ●自然保護・緑化 ●教育・啓発	◎植栽管理 ◎環境アセスメント ◎環境報告書制作 ◎環境啓発ポスター	5	137
(3)社会活動コスト	●自然保護・緑化 ●環境保全の寄付 ●社会的取り組み	◎京王クリーンキャンペーン ◎植樹活動 ◎エコキャンプ ◎親子森林体験スクール	0	6
合計			4,560	2,236
コスト総計			6,796	

[対象期間]

2012年4月1日～2013年3月31日

[対象範囲]

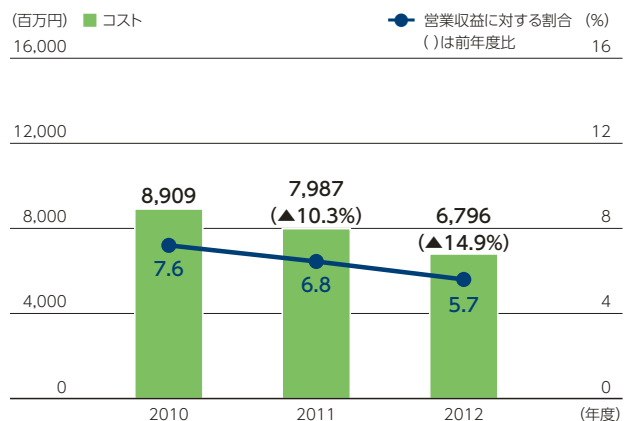
京王電鉄株式会社の鉄道事業部門、開発事業部門、一般管理部門で発生した環境保全コストを対象としています。

(京王グループ各社で発生したコストは含んでいません)

[算定基準]

1. 「環境省環境会計ガイドライン(2005年版)」および「民鉄事業環境会計ガイドライン(2008年版)」を参考に集計しています。
2. 環境保全コストとして確実に把握したもののみ計上しています。
3. 減価償却費は計上していません。

●環境保全コストの推移



コーポレート・ガバナンス体制

京王グループとのつながり



京王グループ 理念

私たち京王グループは、
つながりあうすべての人に誠実であり、環境にやさしく、
「信頼のトップブランド」になることを目指します。
そして、幸せな暮らしの実現に向かって
生活に溶け込むサービスの充実に日々チャレンジします。

2003年1月1日制定

京王グループ スローガン

あなたと あたらしい あしたへ —— 京王グループ

京王グループ 行動規範

「信頼のトップブランド」になるため、私たちは以下のとおり行動します

企業活動を通じて社会に貢献します

- お客様の幸せな生活に資する商品・サービスを提供します
- 常に商品・サービスの品質、安全性の向上を追求します
- 適時適切な情報開示に努めるとともに、お客様の声を事業活動に活かします

法令・社内規程を遵守し、健全・公正な企業活動を行って、企業価値の向上に努めます

- 全てのステークホルダー（お客様・株主・取引先・社員などの関係者）に対して、相互に適正な利益を確保できるよう互いを尊重します
- 法令を正しく理解し、法令に則った手続きを行うことで、公的機関等と適切な関係を維持します
- 反社会的な組織、人物に対しては断固とした姿勢で臨みます
- 知的財産や情報の取扱いに細心の注意を払います
- 社員個人の権利を尊重し、社員同士が信頼しあえる風通しの良い職場づくりをします

社会の一員としての責任を果たします

- すべての人にやさしい環境づくりを進めます
- リサイクル、省エネなど環境保護に積極的に取り組みます
- 社会に貢献し、社会と共に発展するための活動に取り組みます
- 社会の変化に対応し、よき企業市民であるためのチャレンジをしつづけます

コーポレート・ガバナンスと内部統制

基本的な考え方

「京王グループ理念」に基づき、つながりあうすべてのステークホルダー*からの信頼を得て、企業価値向上を実現するため、コーポレート・ガバナンスの充実、強化に取り組んでいます。

*ステークホルダーとは、お客さま・株主さま・取引先・社員などの関係者、つまり京王グループとつながりあうすべての方々のことです。

コーポレート・ガバナンス体制

取締役会は社外取締役2名および主要なグループ会社の社長8名を含む18名で構成し、経営上の重要な事項についての決議や業務執行の監督を行うほか、特別取締役を選定し、時機を捉えた迅速な意思決定を行っています。また、取締役会の諮問機関である指名・報酬委員会において役員的人事・報酬について審議し、経営の透明性向上を図るなど、ガバナンス体制の充実に努めています。さらに、グループ経営協議会、

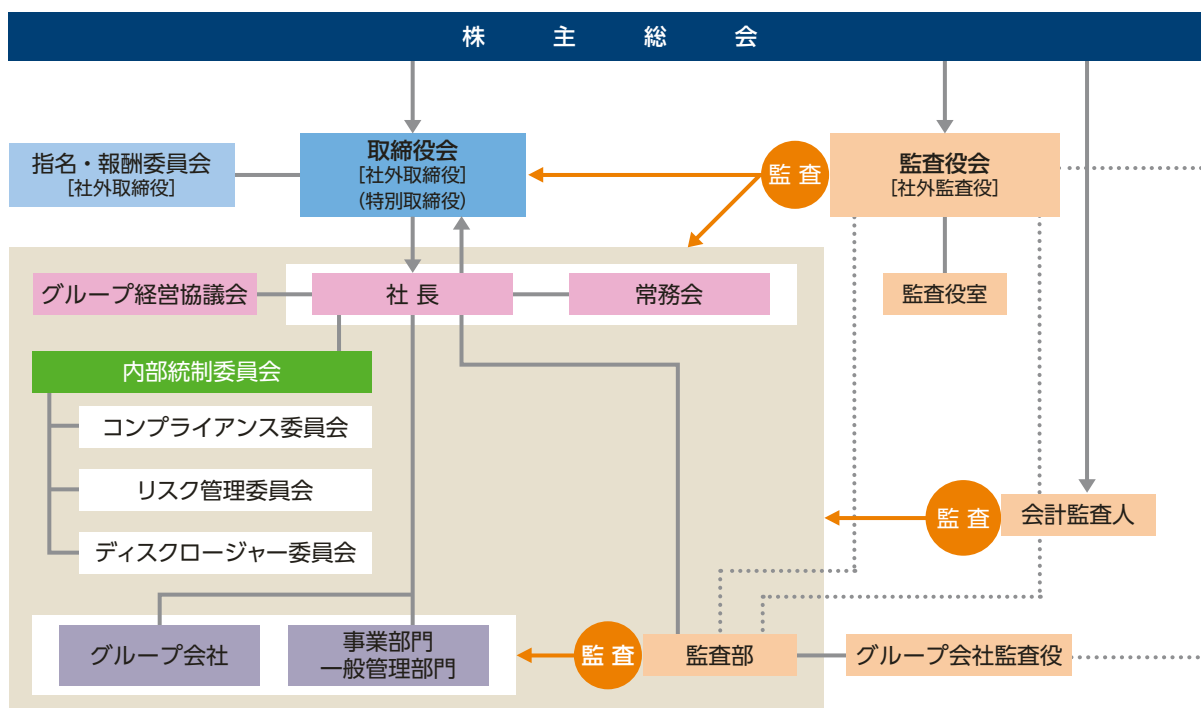
京王グループ社長会を定期的で開催し、グループガバナンス強化にも積極的に取り組んでいます。監査役会は、社外監査役3名を含む4名で構成しています。監査役は監査役会で定めた基本方針に基づき取締役の職務執行の監査を実施するほか、重要な会議での意見陳述などを行います。

内部統制システムの強化

京王グループは「信頼のトップブランド」を確立するため、内部統制システムの強化に努めています。

当社は会社法に基づき「京王グループ内部統制システムに関する基本方針」を定めており、当社取締役会はその整備状況を確認・検証し、必要に応じた見直しを行っています。また、内部統制に関する組織や機能を統括するための内部統制委員会を設置しているほか、財務報告に関わる内部統制についても責任部署を設けて京王グループ全社で整備・運用を進めています。

●コーポレート・ガバナンス体制



コンプライアンス

基本的な考え方

京王グループにとっての「コンプライアンス」とは、「法令遵守にとどまらず、社会の規範やルールまで含めて遵守することで、社会の期待に応える」ことであると考えています。

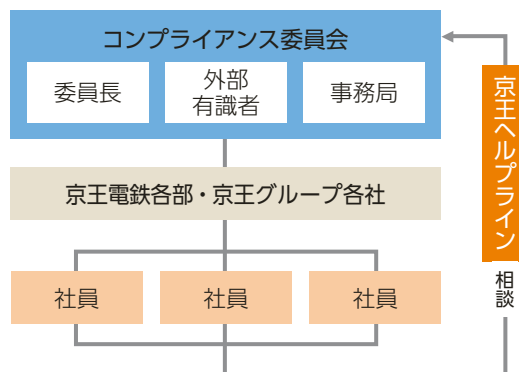
コンプライアンスに取り組むことにより、不祥事の起きにくい風土をつくり、誠実な企業としてお客さまや社会から一層の信頼を獲得したいと考えています。

コンプライアンス体制

京王グループでは、「京王グループ行動規範」を定め、グループ全体に浸透させ、継続的に取り組んでいくため「コンプライアンス委員会」と「京王ヘルプライン」からなる「コンプライアンス体制」を構築しています。

「コンプライアンス委員会」は、委員長、外部の有識者、事務局で構成され、委員長には当社総務法務部分担役員が就き、その諮問機関としての外部有識者（弁護士・会計士など）を置いています。事務局は、当社の総務法務部と広報部が務めています。

●コンプライアンス体制



ヘルプラインの運営

業務に関するコンプライアンス上の疑問を抱いている社員が上司に相談できない場合、身近に相談できる窓口として「京王ヘルプライン」(社内窓口：当社総務法務部、社外窓口：弁護士事務所)を設けています。このヘルプラインは、グループ全社員はもとより、京王グループのお取引先企業で働く方も利用できます。このヘルプラインの運用により、京王グループのコンプライアンス上の問題の早期発見と解決につながっています。

2012年度の主な取り組み

●コンプライアンス意識の向上のための施策

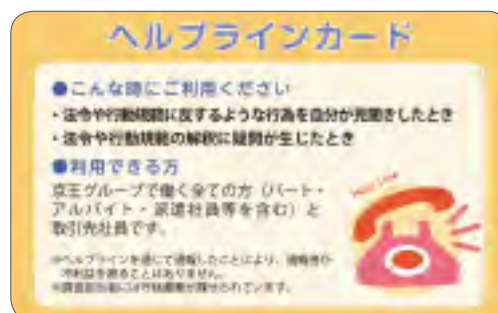
「京王グループ行動規範」の浸透を通じた従業員のコンプライアンス意識の向上を図るため、職位や職種に応じたコンプライアンス研修を実施しました。また、当社および京王グループ各社の実務担当者向けに、コンプライアンスに関わるテーマについての各種講習会を実施するとともに、コンプライアンス関連の情報発信を行うことにより、継続的な意識の啓発を図りました。

●コンプライアンス・アンケートの実施

コンプライアンス意識の浸透度を確認するため、当社の全社員を対象としたコンプライアンス・アンケートを実施しました。

●京王ヘルプラインの周知

京王ヘルプラインの周知を図るため、連絡先や仕組みを明記した「ヘルプラインカード」の配布や研修における周知活動を継続しました。



ヘルプラインカード

リスクマネジメント

基本的な考え方

鉄道事業を中心に企業活動を展開している京王グループでは、「お客さまの安全」をリスク対策における最重要課題と認識しています。そのため各種リスクの低減および発生防止を目的とした体制を整備し、京王グループの理念である「信頼のトップブランド」にふさわしいリスクマネジメントを実践することが必要です。

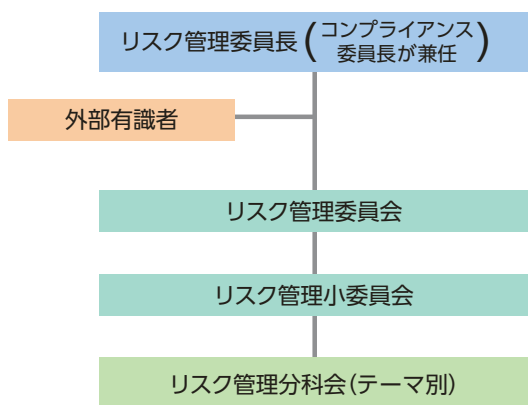
リスクマネジメント体制

京王グループのリスクマネジメント体制は、平常時の体制と危機発生時の体制の2つからなっています。平常時の体制は、リスク管理委員長のもとリスク管理委員会を定期的開催し、リスク対策重点項目の設定や、リスク対策の実施状況の確認、リスクマネジメントに関する活動報告などを行っています。

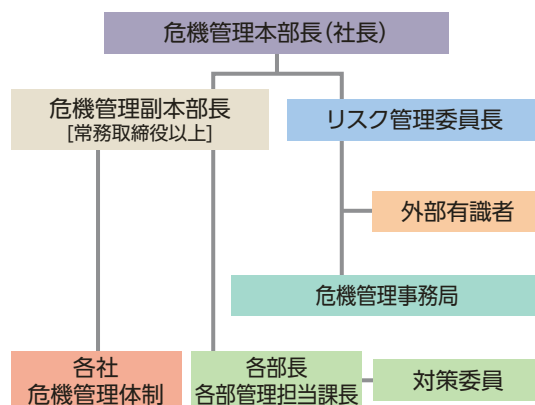
リスク管理委員長は、コンプライアンス委員長が兼任し、コンプライアンスと表裏一体のものとして運営するとともに、リスクマネジメント活動について、コンプライアンスの視点からもチェックしながら推進する仕組みをとっています。このほか、「リスク管理小委員会」、「リスク管理分科会」などの組織を持ち、平常時のリスク対策を実効的に行えるようになっています。

危機発生時の体制は、速やかな対応を第一とし、当社の社長を本部長とする臨時組織「危機管理本部」設置とともに、常務取締役以上の役員1名を危機管理副本部長とし、リスク管理委員長と危機管理事務局が活動をサポートします。また、京王グループ各社で発生した危機のうち、重大なものについてはグループ各社の危機管理体制と当社内に設置する危機管理本部が一体となって対応します。

●リスクマネジメント体制(平常時)



●リスクマネジメント体制(危機発生時)



2012年度の主な取り組み

●リスクマネジメント体制の統合

グループ全体における一元的なリスク管理を実施するため、当社とグループのリスクマネジメント体制を統合しました。

●リスク対策重点項目への対応および「大規模災害に関する事業継続基本計画書」(BCP)の改定

前年度に各種リスクの影響度および発生頻度を分析のうえ、リスク対策重点項目に選定された「自然災害、事故・故障への対策」「労働環境に関する諸問題の改善」などのリスク対策について、グループ各社において対応策を実施しました。また、当社の「大規模災害に関する事業継続基本計画書」などを見直しました。

●情報セキュリティの強化

「情報セキュリティ対策」として、「ソーシャルメディアポリシー※」や注意すべき事項を具体的に示した「ソーシャルメディア行動規範」を制定したほか、情報の保存・管理に関する研修やセキュリティ強化策を実施しました。

※ ソーシャルメディアポリシー：京王電鉄の社員をはじめ、当社の業務に係わるすべての者(外注委託先を含む)を対象に、ソーシャルメディアを利用する上で守るべき基本原則を示したものです。



京王グループ
ソーシャルメディア
利用ハンドブック



京王の電車・バス開業100周年を記念して

京王電鉄では、2013年4月に京王の電車・バスの開業から100周年を迎えました。

京王グループでは、開業100周年を「これまでの100年の感謝と次なる時代への新たなスタート」と位置付け、今後も京王グループ理念である「信頼のトップブランド」を目指して邁進します。

京王沿線物語-KEIO 100th anniversary-エピソード

京王沿線の街に愛着を持っている方、沿線にゆかりのある方からの、街への思いや心温まるエピソードを募集し、ポスターで4月から12月まで毎月ご紹介しています。

ポスターは、駅や京王線・井の頭線の車内窓上、京王バス車内、京王ホームページ内でご覧いただけます。



「歓声の子守唄でした。」(渡辺一家/FC東京サポーターファミリー)



「再開の発車のベルは、お客さまの拍手でした。」(京王線新宿駅 駅長/山崎信重)



「電車の窓越し、父が教えてくれたこと。」(国立市/山本奈緒子)

京王アニバーサリー駅伝 in 味スタ

沿線のお客さまを中心に、多くの方楽しんでいただける参加型イベントとして、駅伝大会を2013年12月15日に味の素スタジアムで開催します。当日は沿線団体の方々によるパフォーマンスを行うなど、参加者だけでなく応援の皆さまにもお楽しみいただける企画を予定しています。



告知ポスター

新しい「京王れーるランド」の開業

2013年10月10日、多摩動物公園駅前にある京王れーるランドを、親子で楽しみながら鉄道の仕組みを“学び・触って・体験できる”施設に一新します。1階は運転体験シミュレータ

やHOゲージジオラマなどを設置し、2階はフロア全体がキッズスペースとなります。また、屋外では引退した車両の展示やミニ電車の乗車体験をお楽しみいただけます。



車両展示場



バス展示



大型運転体験シミュレータ



京王れーるランド 全景イメージ



アスレーるチック (外側)



アスレーるチック (内側)



プラレールで遊ぼう 全景イメージ



鉄道各社のプラレールを展示



プラレールで遊ぼう 展示物イメージ

© TOMY 「プラレール」は株式会社タカラトミーの登録商標です。

京王電鉄の概要

会社概要

社名	京王電鉄株式会社
会社設立	1948年6月1日
本社所在地	〒206-8502 東京都多摩市関戸一丁目9番地1 (登記上の本店所在地 〒160-0022 東京都新宿区新宿三丁目1番24号)
資本金	590億23百万円
従業員数	2,370名(2013年3月31日現在)
営業内容	【鉄道事業】 路線 京王線、高尾線、相模原線、競馬場線、動物園線、井の頭線 駅数 69駅 営業キロ 84.7km 輸送人員 年間6億2,600万人(2012年度実績) 車両数 849両 (貨車5両および総合高速検測車1両を含む) 【開発事業(土地、建物の賃貸業・販売業など)】 新規賃貸資産の開発 賃貸資産の管理・営業 ショッピングセンターの管理・運営 住宅地等の販売
グループ会社数	全44社

京王グループ会社一覧

運輸業

- 京王電鉄(鉄道)
- 京王電鉄バスグループ
 - 京王電鉄バス
 - 京王バス東
 - 京王バス中央
 - 京王バス南
 - 京王バス小金井
- 西東京バス
- 京王自動車
- 京王運輸
- 御岳登山鉄道*

流通業

- 京王百貨店
- 京王ストア
- 京王リテールサービス
- 京王書籍販売
- 京王電鉄(ショッピングセンター)
- 京王パスポートクラブ
- 京王アートマン
- 京王食品
- 京王グリーンサービス
- エリート*
- 京王友の会*
- 京王商事*

不動産業

- 京王電鉄(開発)
- 京王不動産
- 京王地下駐車場
- リビタ

レジャー・サービス業

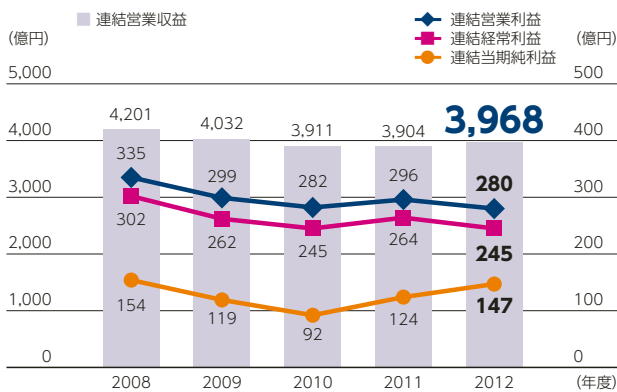
- 京王プラザホテル
- 京王プラザホテル札幌
- 京王プレッソイン
- 京王観光
- 京王エージェンシー
- 京王レクリエーション
- レストラン京王
- 京王コスチューム*

その他業

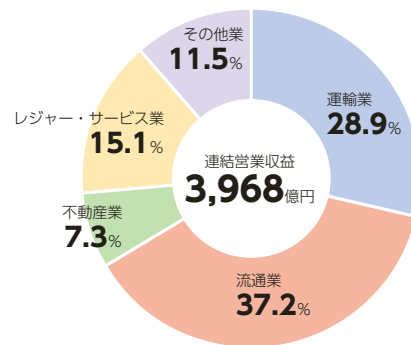
- 京王設備サービス
- 京王重機整備
- 東京特殊車体
- 京王建設
- 京王ITソリューションズ
- 京王アカウンティング
- 京王ビジネスサポート
- 京王ユース・プラザ
- 京王シンシアスタッフ
- 京王子育てサポート
- 京王ウェルシステージ
- 新東京エリート*

*印は持分法適用会社です。なお、事業セグメント分類上、京王電鉄が重複して含まれています。(2013年9月末現在)

連結業績の推移



連結営業収益の構成比率



第三者意見

本報告書は、当社にとって9回目の発行となります。報告内容や活動の継続的な改善につなげるため、2005年度から、外部有識者の意見をいただいています。



一橋大学大学院商学研究科教授
商学博士

伊藤 邦雄

京王の電車・路線バス事業は今年で100周年を迎えるという。「会社の寿命30年説」というのがある。会社は激しい競争にさらされ、平均的に30年ぐらいで淘汰されてしまうということを指す。もちろん社会のインフラ事業が30年で途絶えてしまっては困るが、それにしても100年持続してきたということは並大抵のことではない。

100年の持続を可能にした要因には、「先駆」と「深化」があると思う。それは京王電鉄事業の歴史に脈打っている。今では当たり前になった電車内での冷房だが、1968年に京王電鉄が関東圏で初めて通勤電車に冷房を導入した。事業を通じた先駆的なCSR活動と言える。また、エネルギー効率のよいVVVFインバータ制御装置を1991年度から順次導入し、2012年10月に大手民鉄16社で初めて搭載率100%を達成した。これにより運転原単位は、回生ブレーキを含めた装置導入前と比較して45%削減した。従来からの活動のまさに「深化」といえる。

安全面での取り組みにも、様々な深化が見られる。調布駅付近連続立体交差事業での地下線への切り替えがさらに進行し、2012年8月に完了、踏切18カ所が廃止された。今後は笹塚以西への鉄道立体化が引き続き推進される。さらに、2013年3月、井の頭線でのATC導入により、全線にわたり信号システムのATC化が完了した。このことは利用者にとっての「安心」につながる。鉄道事業は「安全」のみならず、「安心」を提供することが肝要である。

環境面では、先の鉄道車両のVVVFインバータに加え、鉄道施設の省エネルギー化も評価できる。その代表的な1つが、6月に開設した高幡不動駅の鉄道現業事務所である。同所は壁面緑化や太陽光発電システムなど13種類もの設備を採用

し、従来に比べ約30%の省電力と節水に取り組んでいる。また生物多様性への取り組みにも光るものがある。例えば、高尾山での社員参加の植樹活動、森の大切さを学ぶスクールを継続的に実施している。多摩川の清掃活動はさらに盛り上がりを見せている。お客様と社員合わせて700名余りが参加し、清掃のほか稚鮎の放流も行い、多摩川の鮎推定遡上数が大きく増加しているという。

社会的活動も広がりや深化を見せている。特に少子高齢化への取り組みは注目できる。例えば、「京王ほっとネットワーク」が提供している「商品当日宅配サービス」の対象エリアをさらに拡大している。翌日配送は一般的サービスとして全国的に提供されているが、当日配送は一段高いサービスである。また年内には多摩ニュータウンエリアで食品等の移動販売を開始する。同エリアは高齢化が進み、また急こう配の坂道が多い。移動販売はまさにそうした地域特性の問題や社会的課題を解決する取り組みでもある。子育て支援事業である「京王キッズプラッツ」も拡充されている。駅から近くの至便なところに保育所があるということが、いかに若い母親に助かるかは説明を要しない。

「シナジー(相乗効果)」という言葉がある。「1+1=2」ではなく、「1+1=3」という結合効果のことを言う。この言葉が使われている頻度の高さととは裏腹に、現実にはあまり実現されていない。京王電鉄のCSR活動には様々な面でシナジー効果が発揮されている。鉄道事業は多くの利用者とステークホルダーとの関係を生む。利用者への安全・安心な交通サービスだけではなく、鉄道沿線の住民の生活上の困り事を解決したり、また沿線住民の社会活動への参加を促し、近隣の自然を回復させたりすることで、「沿線価値」が上昇する。沿線価値の上昇は利用者や沿線住民の満足度を高め、沿線地域への移住希望者を増やす。そして、それは更なる沿線価値を生む。こうした持続可能なコミュニティの形成がCSRの神髄である。京王電鉄の活動がこうした持続的発展の好例として磨かれていくことを期待する。

一方で、100周年は次の100年への旅の始まりでもある。既に策定した中期目標をきちんとPDCAを回すことで必達するよう心掛けて欲しい。とともに、次の長期計画を策定し、社員、利用者、沿線住民と一体となってそれを実現することを願いたい。先駆が深化を生み、深化が次の先駆を生む。

京王電鉄株式会社

〒206-8502

東京都多摩市関戸一丁目9番地1

安全・社会・環境報告書に関するお問い合わせ

広報部 企画・環境担当

Tel. 042-337-3038

Fax. 042-337-5536

www.keio.co.jp

2013年9月発行



この安全・社会・環境報告書の用紙は、FSC®認証紙を使用しています。
インクにはNonVOCインクを使用し、印刷は水なし印刷で、環境負荷の低減を図っています。